



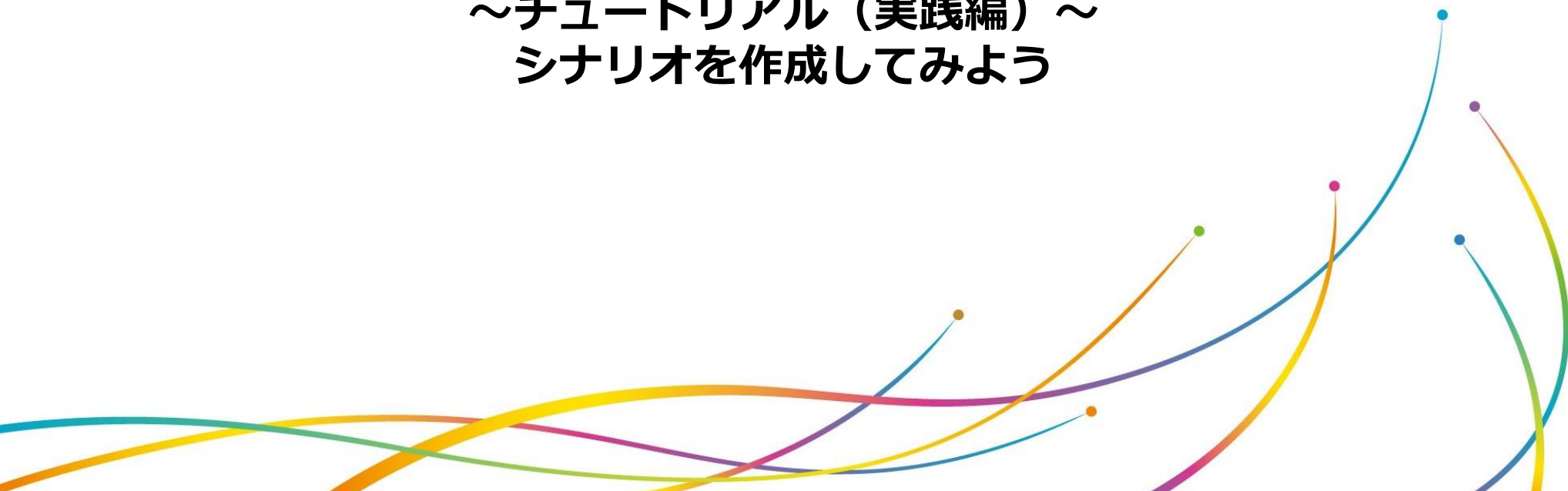
RPA

ミノロボ

MinoRobo®

Robotic Process Automation

～チュートリアル（実践編）～
シナリオを作成してみよう



目次

本チュートリアル	… P. 3
----------	--------

1. 事前準備	… P. 4
---------	--------

2. 作業内容を確認しておこう	… P. 7
-----------------	--------

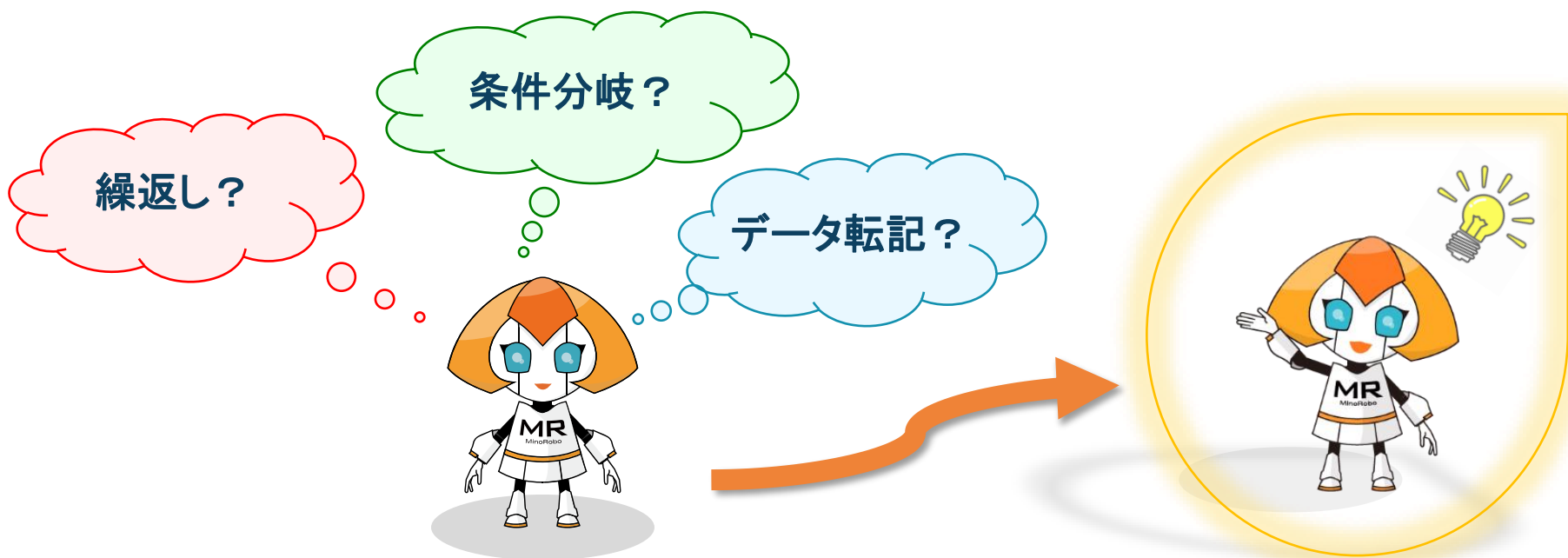
3. シナリオを作成してみよう

・サンプルアプリを起動する	… P. 15	・繰り返しの終了判定を追加する	… P. 61
・サンプルデータを開く	… P. 20	・ユーザ定義変数「行」に1を加算する	… P. 64
・サンプルデータから値を取得する	… P. 22	・シナリオを実行して動作を確認する	… P. 67
・登録したアクションの名前を変更する	… P. 30	・シナリオを保存する	… P. 68
・サンプルアプリの「申込情報」を操作する	… P. 32	・シナリオを「MinoRobo Worker」で実行する	… P. 69
・サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する	… P. 41	・シナリオの視認性・メンテナンス性を上げよう	… P. 70
・サンプルアプリの「会員情報」を操作する	… P. 49		
・サンプルアプリの「登録」ボタンをクリックする	… P. 53		
・サンプルアプリに対するアクションを連続で実行する	… P. 55		
・シナリオを繰り返し実行されるように変更する	… P. 57		

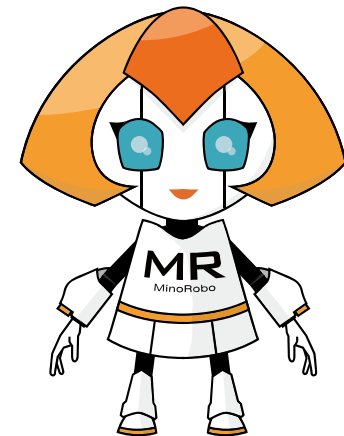


◎ 本チュートリアル目的

本チュートリアルでは、ExcelのデータをWindowsアプリケーションの画面に繰り返し転記するシナリオを作成していきます。本チュートリアルを終えることで、「繰り返し」や「条件分岐」を利用したシナリオの作成方法を理解し、今後のシナリオ作成が円滑に進められるようになることを目的としています。



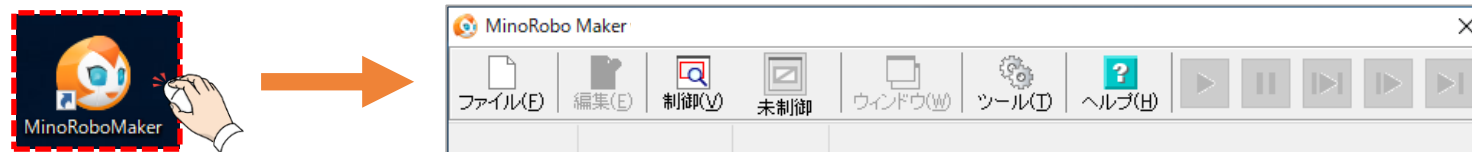
1. 事前準備



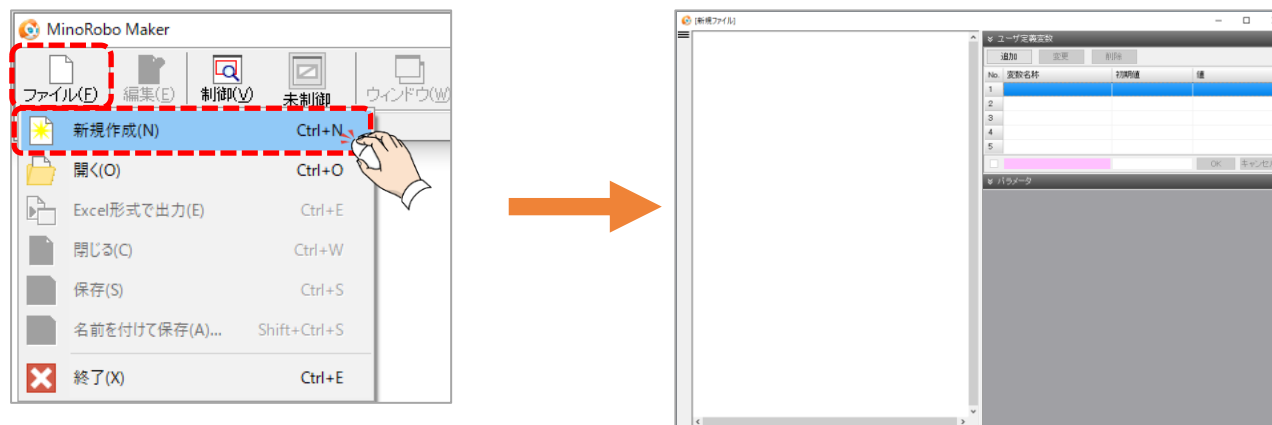
1. 事前準備

◎ 本チュートリアルを開始する前の事前準備

(1) MinoRobo Makerを起動しておきます。

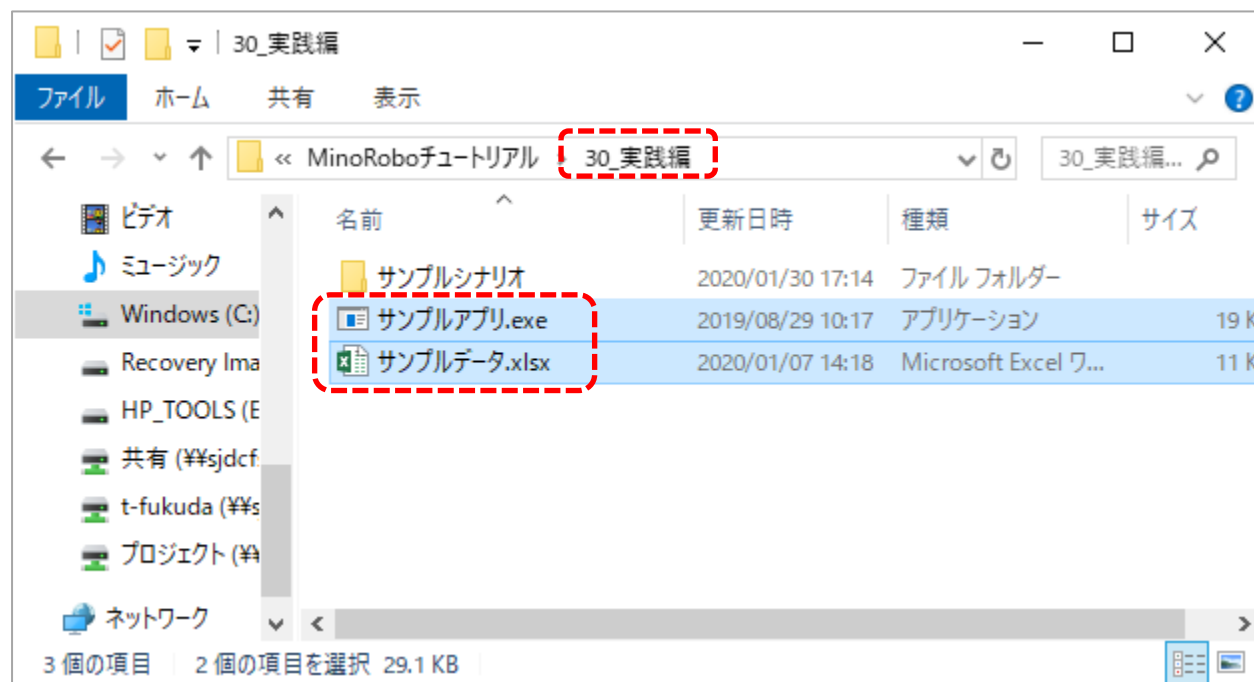


(2) シナリオ作成画面を表示しておきます。

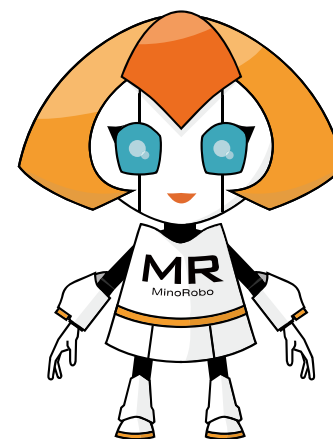


◎ 本チュートリアルを開始する前の事前準備

- (3) 本チュートリアルでは、同梱のフォルダ「30_実践編」に格納されている
サンプルアプリ.exe（Windowsアプリケーション）と サンプルデータ.xlsx（Excel）を用いて
操作を行います。保存先を確認しておいてください。



2. 作業内容を確認しておこう

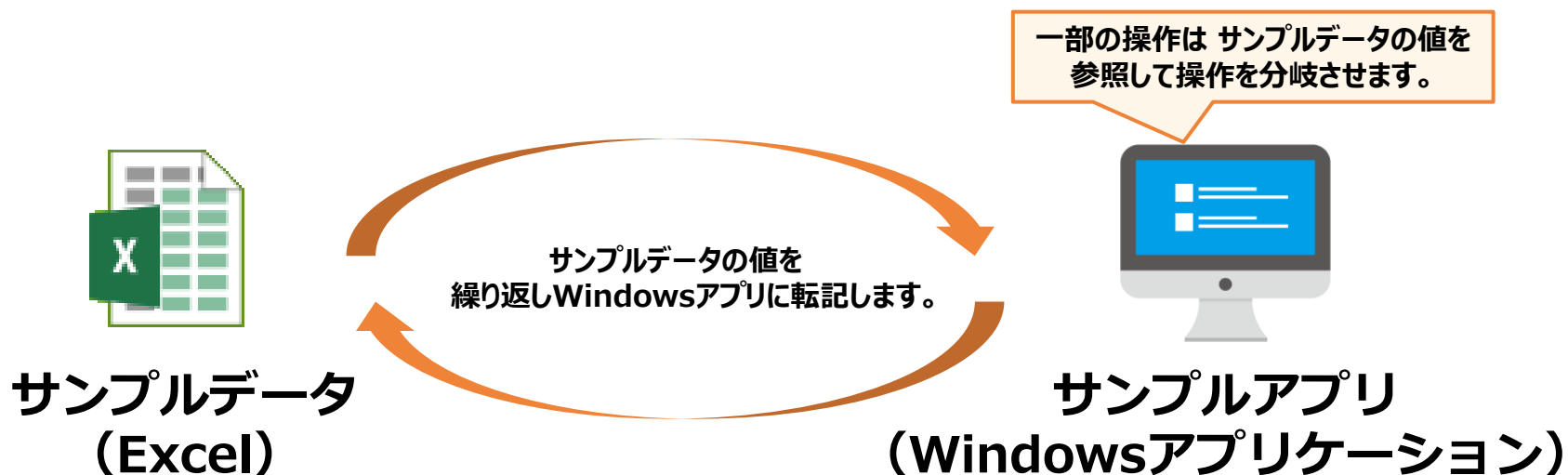


2. 作業内容を確認しておこう

◎これから作成するシナリオのイメージを事前に確認・整理する

(1) 作成するシナリオの全体イメージを確認する。

- ① サンプルデータ（Excel）から値を取得
- ② サンプルアプリ（Windowsアプリケーション）にサンプルデータ（Excel）の値を転記
※ ②の一部操作は、サンプルデータの値を基に操作内容を登録する（条件分岐）
- ③ 上記の操作を サンプルデータ から値が取得できなくなるまで繰り返す



2. 作業内容を確認しておこう

◎これから作成するシナリオのイメージを事前に確認・整理する

(2) サンプルデータ (Excel) の内容を確認する。

- ① サンプルデータは 4 件 ※ 2 ～ 5 行目までのデータ
- ② サンプルデータから取得する値は 16 項目 (16 列分) ※ A～P列までの値

② 合計 16 項目 (16 列分) の値を取得します。
※A～P列までの値

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
申込日	法人・個人	会員種類	企業名	企業名(フリガナ)	部署名	店舗名	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別
2019/9/18	法人	正会員	株式会社〇〇	カブシキガイシャ〇〇	営業部	大手町店	〇内 × 介	〇ウチ × スケ	1999/1/1	男
2019/10/15	法人	賛助会員	△△株式会社	△△カブシキガイシャ	総務部	神田店	池▽ 絵里◇	イケ▽ エリ◇	1987/2/2	女
2020/1/5	個人					松戸店	宇都■ × △	ウツノ■ × △	1985/3/3	男
2020/1/10	個人					さいたま店	〇脇 ◇ 菜	〇ワキ ◇ ナ	1993/4/4	女

① 4 件 (4 行) のデータを扱います。
※ 2 ～ 5 行目までのデータ

L	M	N	O	P
電話番号	メールアドレス	郵便番号	住所(フリガナ)	住所
03-1111-2222	info@〇〇.com	1000006	トウキョウトチヨダク〇〇	東京都千代田区〇〇
03-3333-4444	info@△△.com	1000006	トウキョウトチヨダク△△	東京都千代田区△△
080-5555-6666	■×△@dcgvhbjk.fg	1234567	チバケンマツシ■×△	千葉県松戸市■×△
090-7777-8888	〇◇@ufrhjsja.mmn	9876543	サイタマケンサイタマシ〇◇	埼玉県さいたま市〇◇

2. 作業内容を確認しておこう

◎これから作成するシナリオのイメージを事前に確認・整理する

(3) サンプルアプリ（Windowsアプリケーション）の内容を確認する。

- ① サンプルアプリの 16 項目に対して操作を登録
- ② サンプルアプリの 2 項目（代表電話と代表メール）に対しては何もしない
- ③ **赤枠** は無条件で操作を登録し、**青枠** はサンプルデータの値を基に操作内容を登録する

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名
① 操作対象は 16 項目						

申込情報

申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報

企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:

② 代表電話、代表メールに対しては何もしない

会員種類
☐ 正規
☐ 賛助

会員情報

申込店: 氏名: 氏名カナ:
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

☐ 男
☐ 女

登録 クリア 閉じる

③ **赤枠** と **青枠** で登録する操作内容が異なる

赤枠 無条件で操作を登録

青枠 サンプルデータの値を基に操作内容を登録する（条件分岐）

2. 作業内容を確認しておこう

◎これから作成するシナリオのイメージを事前に確認・整理する

(4) サンプルデータ と サンプルアプリ のそれぞれの項目を紐づける。(A～K列まで)

サンプルデータ.xlsx - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 Foxit PDF

A1 : 申込日

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	申込日	法人・個人	会員種類	企業名	企業名(フリガナ)	部署名	店舗名	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別
2	2019/9/18	法人	正会員	株式会社〇〇	カブシキガイシャ〇〇	営業部	大手町店	〇内 ×介	〇ウチ ×スケ	1999/1/1	男
3	2019/10/15	法人	賛助会員	△△株式会社	△△カブシキガイシャ	総務部	神田店	池▽ 絵里◇	イケ▽ エリ◇	1987/2/2	女
4	① 2019/10/15	② 個人	③	④	⑤	⑥	⑦ 松	⑧ 宇都	⑨ △	⑩ 19	⑪ 男
5	2019/1/10	個人					さ	〇脳	〇ワ	18	女

準備完了 NUMLOCK

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報

申込日: ① 2019/9/18 ② 個人 法人

法人会員情報

企業名: 株式会社〇〇 ④ 企業名カナ: カブシキガイシャ〇〇 ⑤ ③ 会員種類 正規 賛助

部署名: 営業部 ⑥ 代表電話: 代表メール:

会員情報

申込店: 大手町店 ⑦ 氏名: 〇内 ×介 ⑧ 氏名カナ: 〇ウチ ×スケ ⑨ ⑪ 男 女

生年月日: 1999/1/1 ⑩ 会員電話: 03-1111-2222 会員メール: info@〇〇.com

住所: 1000006 トウキョウトチヨダク〇〇 東京都千代田区〇〇

登録 クリア 閉じる

②, ③, ⑪ は サンプルデータの内容を基にしてチェックする対象を判断する。

② = B 列の値で判断 〇 個人 法人

③ = C 列の値で判断 正規 賛助

⑪ = K 列の値で判断 男 女

青枠内 (法人会員情報) の入力は サンプルデータの B 列 の値が『法人』の時のみ 実施する。

2. 作業内容を確認しておこう

◎これから作成するシナリオのイメージを事前に確認・整理する

(5) サンプルデータ と サンプルアプリ のそれぞれの項目を紐づける。(L～P列まで)

サンプルデータ.xlsx - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 Foxit PDF

A1 : 申込日

	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別	電話番号	メールアドレス	郵便番号	住所(フリガナ)	住所
2	○内 ×介	○ウチ ×スケ	1999/1/1	男	03-1111-2222	info@○○.com	1000006	トウキョウトチヨダク○○	東京都千代田区○○
3	池▽ 絵里◇	イケ▽ エリ◇	1987/2/2	女	03-3333-4444	info@△△.m	1000000	トウキョウトチヨダク△△	東京都千代田区△△
4	宇都 ■×△	ウツノ■ ×△	1985/3/3	男	080-5555-6666	■×△ hbjk.fg	1200000	チバケンマヅシマシ×△	千葉県マヅシマ市×△
5	○脇 ◇菜	○ワキ ◇ナ	1993/4/4	女	090-7777-8888	○◇@example.mmn	9800000	サイタマケンマヅシマシ○◇	埼玉県マヅシマ市○◇

Sheet1

準備完了 NUMLOCK

会員登録 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報

申込日: 2019/9/18 ○個人 ●法人

法人会員情報

企業名: 株式会社○○ 企業名カナ: カブシキガイシャ○○ 会員種類: ●正規 ○賛助

部署名: 営業部 代表電話: 代表メール:

会員情報

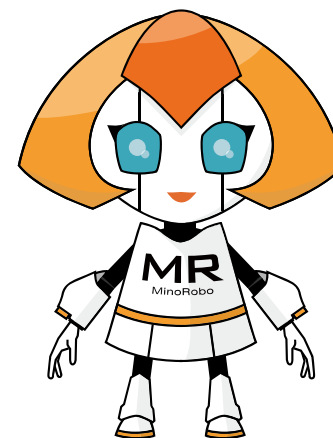
申込店: 大手町店 氏名: ○内 ×介 氏名カナ: ○ウチ ×スケ ●男 ○女

生年月日: 1999/1/1 会員電話: 03-1111-2222 ⑫ 会員メール: info@○○.com ⑬

住所: 1000006 ⑭ トウキョウトチヨダク○○ ⑮ 東京都千代田区○○ ⑯

登録 クリア 閉じる

3. シナリオを作成してみよう



3. シナリオを作成してみよう

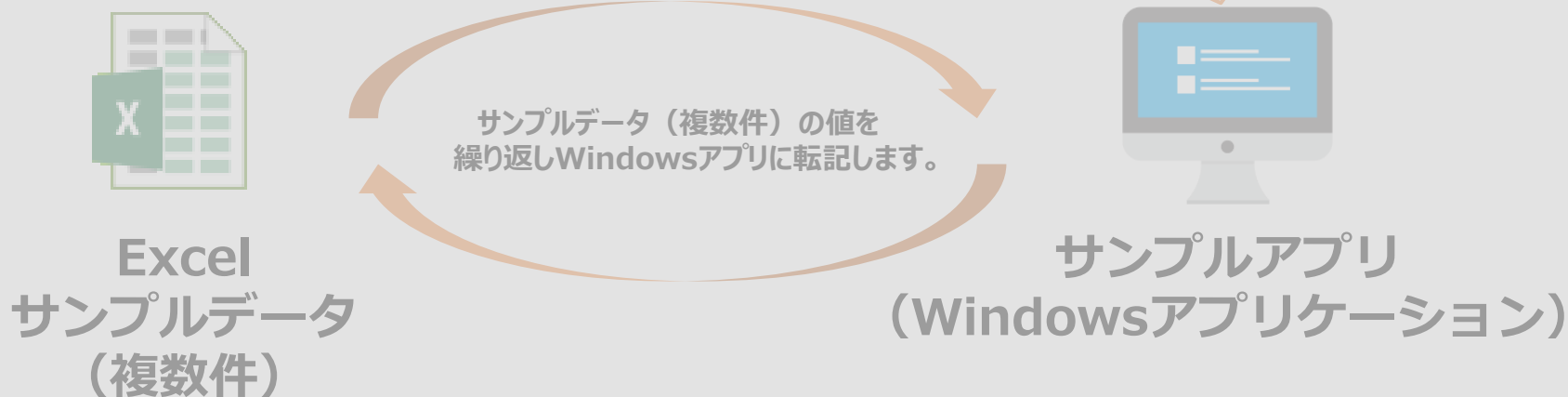
◎これから作成するシナリオのイメージを事前に確認・整理する

P.8 再掲

(1) 作成するシナリオの全体イメージを確認する。

- ① サンプルデータ（Excel）から値を取得
- ② サンプルアプリ（Windowsアプリケーション）にサンプルデータ（Excel）の値を転記
 - ※ ②の一部操作は、サンプルデータの値を基に操作内容を登録する（条件分岐）
- ③ 上記の操作をExcelのサンプルデータが取得できなくなるまで繰り返す

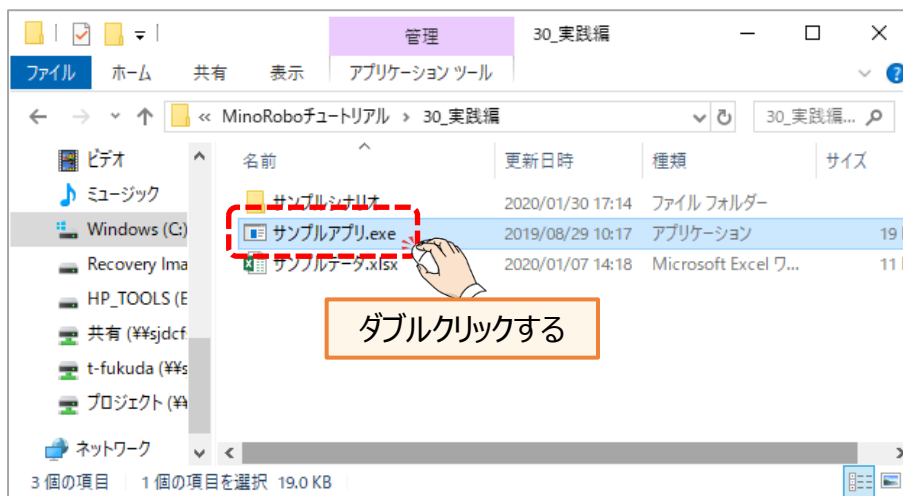
まずはサンプルデータの1件を処理するためのシナリオを作成していきます。
繰り返しを含むシナリオはその後に作成します。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリを起動する -1

① サンプルアプリを**手動**で起動しておきます。



会員登録 申込登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名
① サンプルアプリを起動						

申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ: 会員種別: ☐ 正規 ☐ 賛助
部署名: 代表電話: 代表メール:

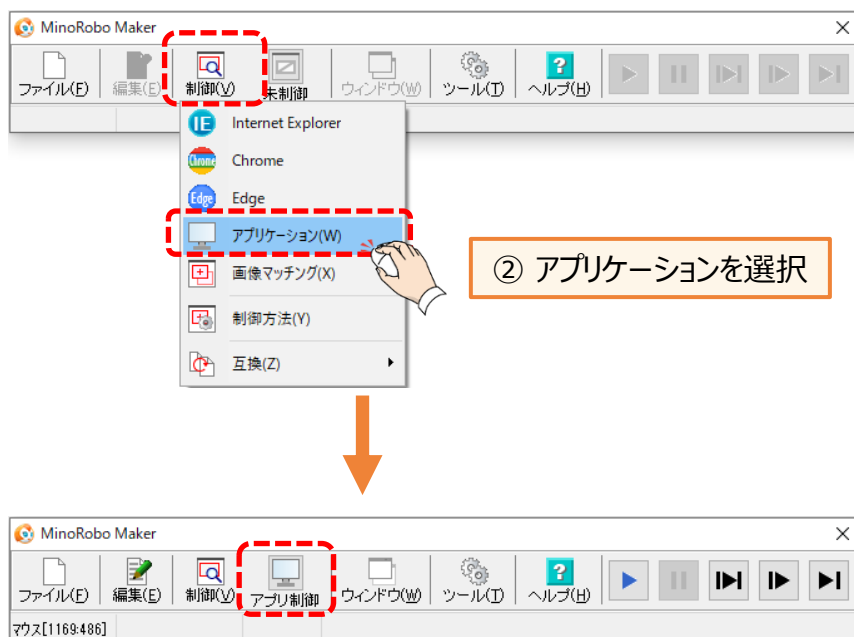
会員情報
申込店: 氏名: 氏名カナ: ☐ 男 ☐ 女
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

登録 クリア 閉じる

3. シナリオを作成してみよう

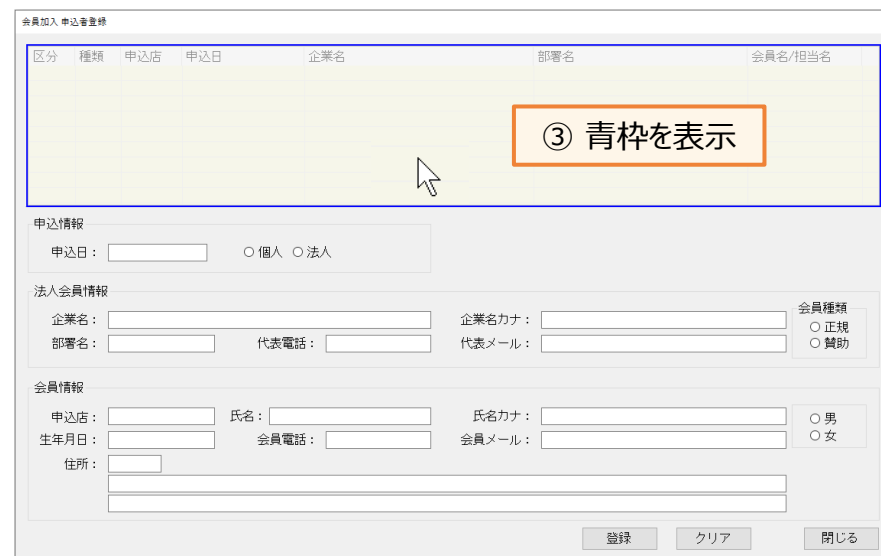
◎ サンプルアプリを起動する -2

- ② メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション(W)」を選択して、Windowsアプリケーション制御の状態に切り替えます。



メイン画面に「アプリ制御」のアイコンが表示されていることを確認
※当アイコンをクリックすることで制御をOFFに切り替えることができます。

- ③ 以下画像のように、サンプルアプリ上の**適当な位置**にマウスカーソルを移動して**青枠**を表示します。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリを起動する -3

- ④ 表示された青枠上で右クリックしてアクション選択メニューを表示し、「アプリケーション(Y)」→「起動(X)」を選択します。

- ⑤ シナリオ画面に「アプリ起動」が追加されたことを確認します。

会員登録申込書

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名
----	----	-----	-----	-----	-----	---------

申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:
会員種類: ☐ 正規 ☐ 賛助

会員情報
申込店: 氏名: 氏名カナ: ☐ 男 ☐ 女
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

登録 クリア 閉じる

[新規ファイル]

- Excel
- Access
- アプリケーション
- 画像マッチング
- Edge
- Chrome
- Internet Explorer
- (互換)アプリケーション
- (互換)Web
- ファイル/フォルダ
- 制御

ポイント

青枠表示後、マウスカursorを動かさせずに止めておくことで青枠内が「白色」の状態に変化します。この状態でマウス右クリックをするとアクション選択メニューが表示されます。

⑥ 追加したアクションの動作を確認するため、サンプルアプリの「閉じる」ボタンをクリックしてアプリケーションを手動で終了させます。

⑥ 「閉じる」をクリックして アプリケーションを閉じる

⑦ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



シナリオ画面とメイン画面を切り替える操作は、以下のショートカットキーを活用することで簡単に操作できます。

「Ctrl+Tab」…シナリオ画面とメイン画面を切り替える
「Ctrl+M」…メイン画面を前面に表示

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリを起動する -5

⑧ サンプルアプリが起動することを確認します。

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	会員名/担当名
⑧ サンプルアプリが起動することを確認				

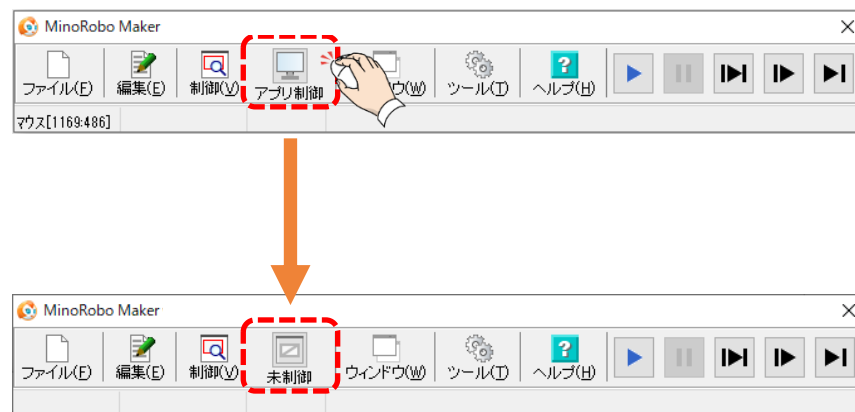
申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ: 会員種類
部署名: 代表電話: 代表メール: ☐ 正規 ☐ 賛助

会員情報
申込店: 氏名: 氏名カナ: ☐ 男 ☐ 女
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

登録 クリア 閉じる

⑨ この後は サンプルデータ の操作を登録していきますので、**青枠**表示が操作の妨げになる場合は制御をOFF に切り替えておきます。

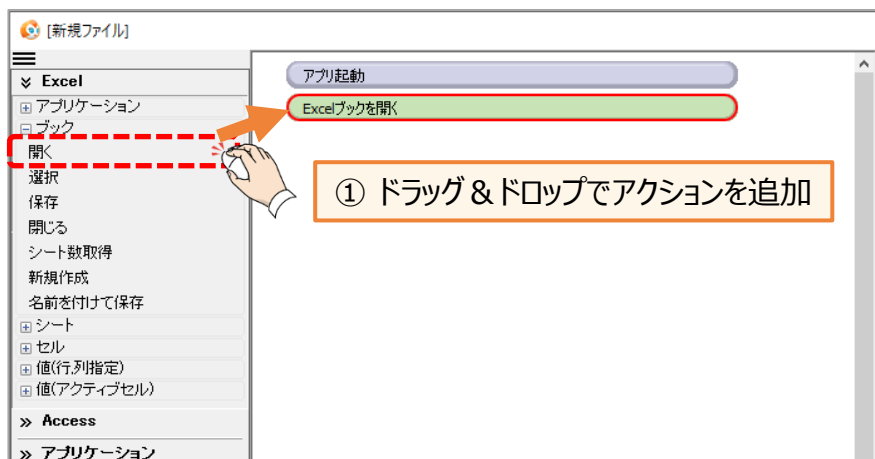


当操作は任意です。
制御を OFF に切り替えた場合は、再度サンプルアプリの
操作登録を行う際にアプリケーション制御を ON にするの
を忘れないようにしましょう。

3. シナリオを作成してみよう

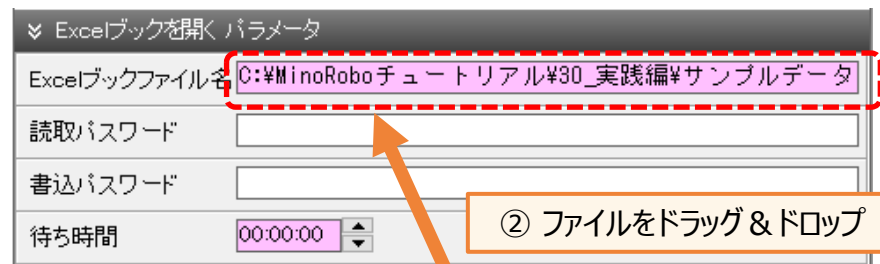
◎ サンプルデータを開く -1

- ① アクション選択エリアの「Excel」→「ブック」→「開く」を選択し、実行順序エリアにドラッグ & ドロップします。



- ② パラメータエリアの「Excelブックファイル名」に開きたいExcelブックをドラッグ & ドロップしてファイルのフルパス（フォルダパス + ファイル名）を指定します。

※同梱のExcelファイル（サンプルデータ）を指定します。



ポイント

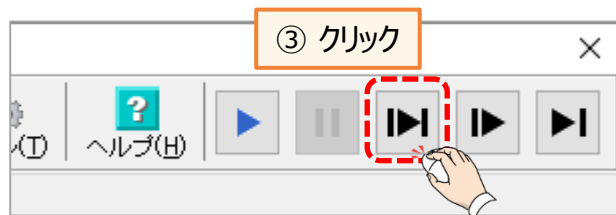


パラメータエリアの「Excelブックファイル名」にはフルパス（フォルダパス + ファイル名）を指定する必要があります。手入りの手間を省くために操作対象のExcelブックのファイルアイコンをドラッグ & ドロップするだけでパラメータの設定を可能にしています。

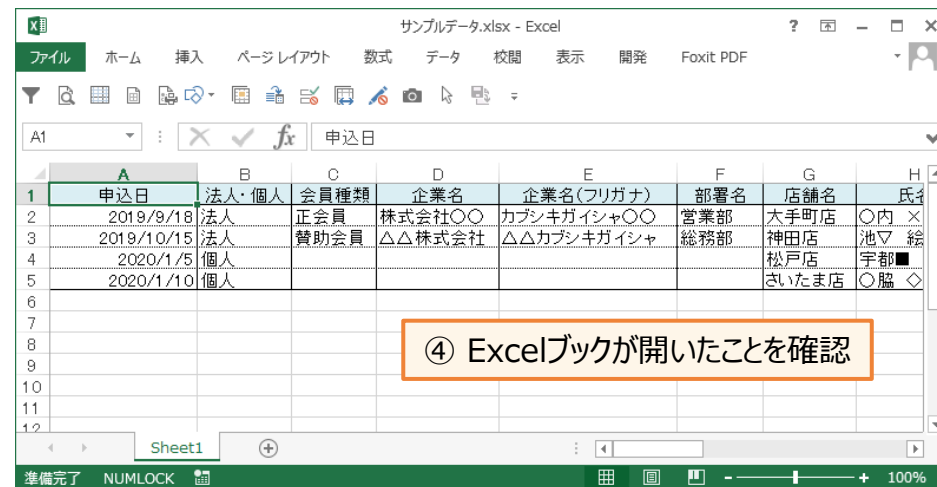
3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータを開く -2

- ③ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



- ④ パラメータエリアに指定したExcelブックが開いたことを確認します。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -1

- ① サンプルデータの 16 項目 (A~P列) の値を「Excelセル値取得」アクションを使用してユーザ定義変数に格納します。
サンプルデータには 4 件 (4 行分) のデータがありますが、まずは 1 件目 (2 行目) の値を取得するだけの処理を作成していきます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	申込日	法人・個人	会員種類	企業名	企業名(フリガナ)	部署名	店舗名	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別
2	2019/9/18	法人	正会員	株式会社〇〇	カブシキガイシャ〇〇	営業部	大手町店	〇内 × 介	〇ウチ × スケ	1999/1/1	男
3	2019/10/15	法人	賛助会員	△△株式会社	△△カブシキガイシャ	総務部	神田店	池▽ 綾里◇	イケ▽ エリ◇	1987/2/2	女
4	2020/1/5	個人					松戸店	宇都■ × △	ウツノ■ × △	1985/3/3	男
5	2020/1/10	個人					さいたま店	〇脇 ◇ 菜	〇ワキ ◇ ナ	1993/4/4	女

① 1 件目 (2 行目) の値をユーザ定義変数に格納していく

	L	M	N	O	P
別	電話番号	メールアドレス	郵便番号	住所(フリガナ)	住所
1	03-1111-2222	info@〇〇.com	1000006	トウキョウトチヨダク〇〇	東京都千代田区〇〇
2	03-3333-4444	info@△△.com	1000006	トウキョウトチヨダク△△	東京都千代田区△△
3	080-5555-6666	■ × △@dcgvhbjk.fg	1234567	チバケンマツトシ■ × △	千葉県松戸市■ × △
4	090-7777-8888	◇ ◇ @ufrhjsja.mmn	9876543	サイタマケンサイタマシ◇ ◇	埼玉県さいたま市◇ ◇

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -2

② サンプルデータ から取得する項目数が多いため、事前にユーザ定義変数を作成しておきます。

作成するユーザ定義変数は全部で 16 個（16 項目分）です。

各ユーザ定義変数の名称はわかりやすいように サンプルデータ の列名と同様にします。

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名称	初期値	値
1	住所		
2	住所(フリガナ)		
3	郵便番号		
4	メールアドレス		
5	電話番号		

② 全部で 16 個作成します。

☐ 住所 OK キャンセル

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名称	初期値	値
13	企業名		
14	会員種類		
15	法人・個人		
16	申込日		
17			

☐ 申込日 OK キャンセル

サンプルデータ の各列名は以下の通り。


A ... 申込日
B ... 法人・個人
C ... 会員種類
D ... 企業名
E ... 企業名 (フリガナ)
F ... 部署名
G ... 店舗名
H ... 氏名
I ... 氏名 (フリガナ)
J ... 生年月日
K ... 性別
L ... 電話番号
M ... メールアドレス
N ... 郵便番号
O ... 住所 (フリガナ)
P ... 住所

3. シナリオを作成してみよう

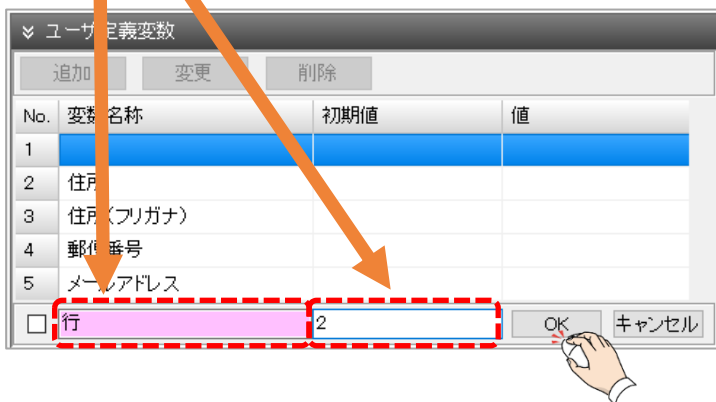
◎ サンプルデータから値を取得する -3

③ サンプルデータ から値を取得する際に「Excelセル値取得」アクションを使用していきます。

このアクションのパラメータ「行番号」には処理対象の 行番号（2行目を参照する場合は「2」）を指定する必要がありますが、
ここに指定する値は 2 → 3 → 4 ...と流動的に変化する値にしておきたいため、固定値ではなくユーザ定義変数を指定します。
そのため、事前に 行番号 を管理するユーザ定義変数を作成しておきます。



No.	変数名	初期値
1	住	
2	住所(フリガナ)	



No.	変数名	初期値	値
1			
2	住所		
3	住所(フリガナ)		
4	郵便番号		
5	メールアドレス		

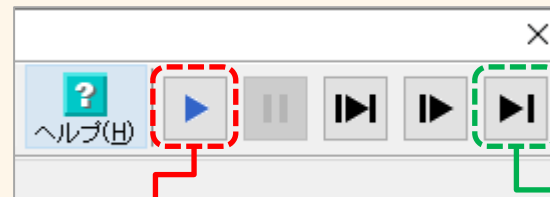
☐ 行 2 OK キャンセル



ポイント

ユーザ定義変数の「初期値」は、シナリオ起動時に最初から保持している値になります。

また、以下のボタンでシナリオを実行した場合は、必ずユーザ定義変数の値を「初期値」にリセットしてからシナリオが動作します。



シナリオ実行ボタン

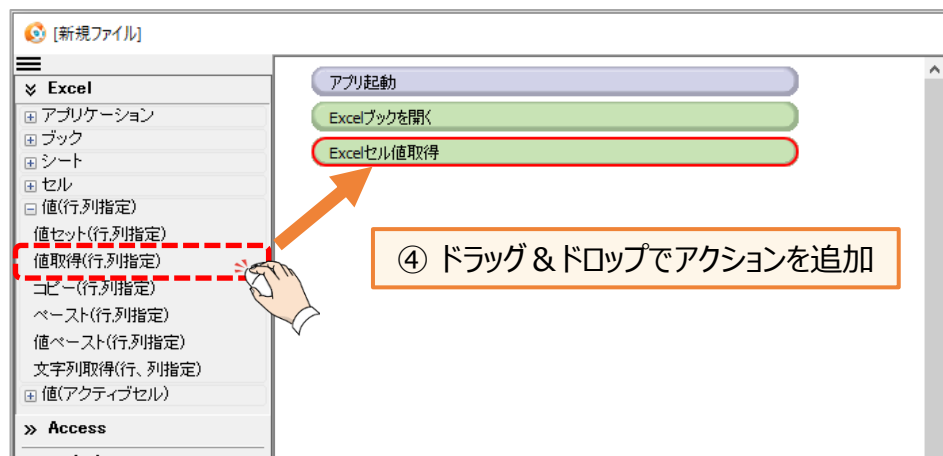
先頭から選択アクションの直前まで実行ボタン

③ 名称は「行」、初期値には半角の「2」を指定してOKをクリック
※サンプルデータの2行目を読み込み開始位置とするため、初期値には「2」を指定しておきます。

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -4

- ④ まずはサンプルデータの「申込日」（A列）を取得していきます。
アクション選択エリアの「Excel」→「値(行,列指定)」→
「値取得(行,列指定)」を選択し、
実行順序エリアにドラッグ＆ドロップします。



- ⑤ パラメータエリアの「列番号」に半角の「A」を入力します。
※「行番号」と「取得先変数名」の設定は⑥の手順で行います。

Excelセル値取得 パラメータ	
ブック名	
シート名	
列番号	A
行番号	
取得先変数名	
待ち時間	00:00:00

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -5

⑥ パラメータエリアの「行番号」と「取得先変数名」にユーザ定義変数をドラッグ＆ドロップで指定する。

「行番号」 …… \$行\$

「取得先変数名」 …… \$申込日\$

■ パラメータ「行番号」の指定

The screenshot shows the 'ユーザ定義変数' (User Defined Variables) dialog box. The '追加' (Add) button is highlighted. The table below lists the variables:

No.	変数名	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		
3	住所(フリガナ)		
4	郵便番号		
5	メールアドレス		

An orange box labeled '⑥ ドラッグ＆ドロップ' (Drag & Drop) is positioned over the '行' variable. An arrow points from this box to the '行番号' field in the 'Excelセル値取得パラメータ' (Excel Cell Value Acquisition Parameters) section, which currently contains '\$行\$'.

■ パラメータ「取得先変数名」の指定

The screenshot shows the 'ユーザ定義変数' (User Defined Variables) dialog box. The '追加' (Add) button is highlighted. The table below lists the variables:

No.	変数名	初期値	値
14	企業名		
15	会員種類		
16	法人・個人		
17	申込日		
18			

An orange box labeled '⑥ ドラッグ＆ドロップ' (Drag & Drop) is positioned over the '申込日' variable. An arrow points from this box to the '取得先変数名' field in the 'Excelセル値取得パラメータ' (Excel Cell Value Acquisition Parameters) section, which currently contains '\$申込日\$'.

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -6

- ⑦ サンプルデータの残りの 15 項目（B～P列）に対しても **P.25、26** と同様の手順で「Excelセル値取得」アクションを追加してください。

※アクションの実行は次ページでまとめて実行します。

⑦ 全部で 16 個の「Excelセル値取得」が登録されている状態にする

No.	変数名称	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		
3	住所(フリガナ)		
4	郵便番号		
5	メールアドレス		

Excelセル値取得 パラメータ

ブック名:

シート名:

列番号:

行番号:

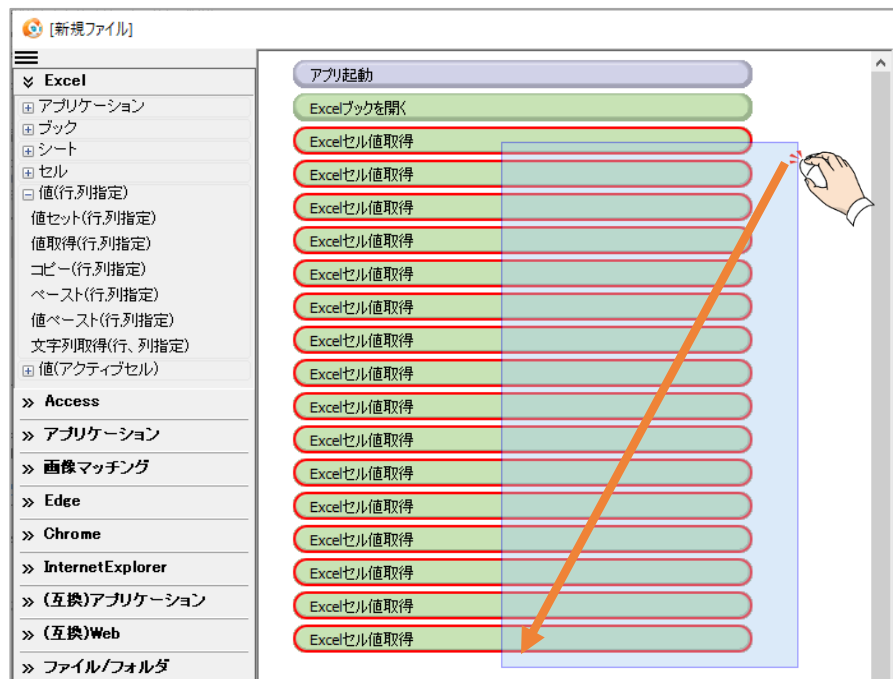
取得先変数名:

待ち時間:

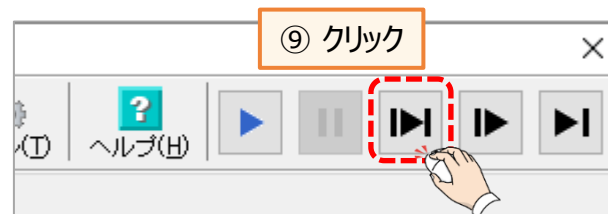
3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -7

- ⑧ 追加したアクションをまとめて実行してみましょう。
ドラッグ操作で、実行するアクションを複数選択した状態にします。



- ⑨ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルデータから値を取得する -8

- ⑩ 選択していたアクションが上から順に実行され、各ユーザ定義変数にサンプルデータの1件目（2行目）の値が格納されていることを確認します。

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		東京都千代田区〇〇
3	住所(フリガナ)		トウキョウトチヨダク〇〇
4	郵便番号		1000006
5	メールアドレス		info@〇〇.com

☐ 行 2 OK キャンセル

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
11	店舗名		大手町店
12	部署名		営業部
13	企業名(フリガナ)		カブシキガイシャ〇〇
14	企業名		株式会社〇〇
15	会員種類		正会員

☐ 行 2 OK キャンセル

⑩ 各ユーザ定義変数に サンプルデータの
1件目（2行目）の値が格納されていることを確認

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
6	電話番号		03-1111-2222
7	性別		男
8	生年月日		1999/01/01
9	氏名(フリガナ)		〇ウチ ヌスケ
10	氏名		〇内 ヌ介

☐ 行 2 OK キャンセル

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
16	法人・個人		法人
17	申込日		2019/09/18
18			
19			
20			

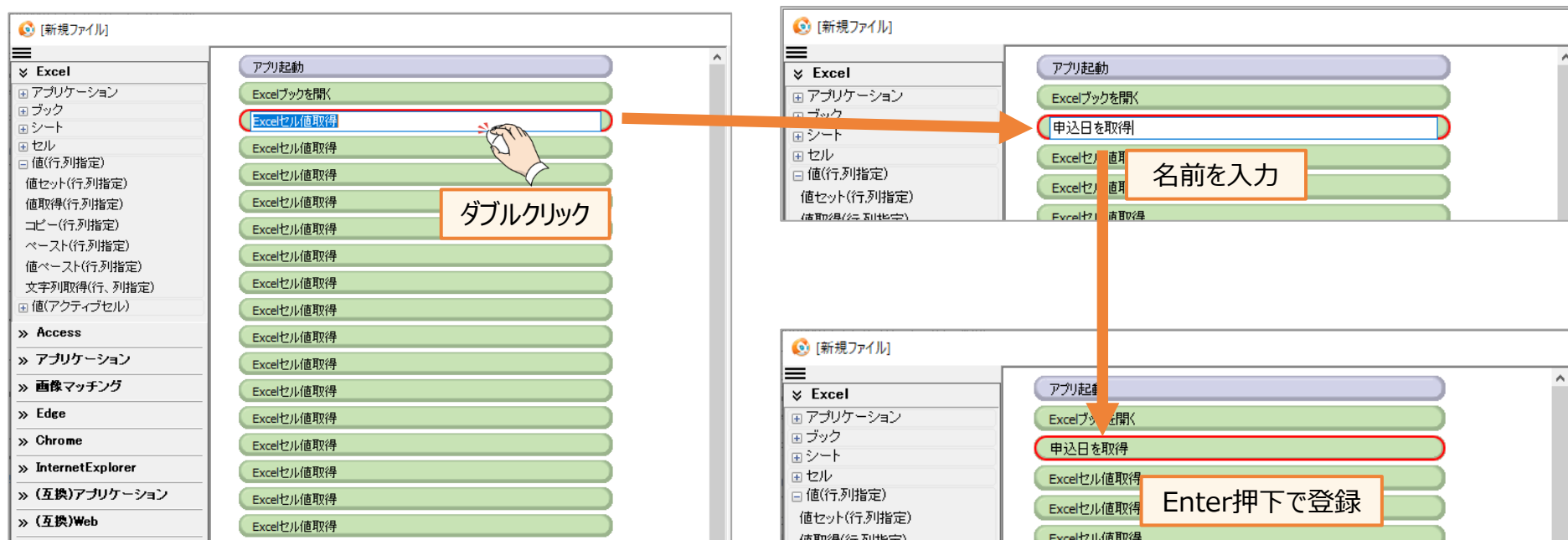
☐ 行 2 OK キャンセル

3. シナリオを作成してみよう

◎登録したアクションの名前を変更する -1

① 同じ名前のアクションが並んでいるため、このままでは操作内容がわかりにくい状態になってしまっています。

各アクションがどのような役割を持つアクションなのかをわかりやすくするために、アクションの名前を変更しておきます。



3. シナリオを作成してみよう

◎登録したアクションの名前を変更する -2

② 赤枠内のアクションの名前を以下の通り変更する。



ポイント

アクションの名前を「操作に関連した内容」に変更することで
視認性／メンテナンス性が格段に向上します。

The screenshot displays the software interface for creating scenarios. On the left, a sidebar lists various actions under the 'Excel' category, including 'アプリケーション', 'ブック', 'シート', 'セル', and '値(行列指定)'. The main area shows a list of actions, with '住所を取得' (Get Address) highlighted in red. To the right, the 'Excelセル値取得 パラメータ' (Excel Cell Value Acquisition Parameters) dialog box is open, showing a table of variables and their values.

No.	変数名	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		東京都千代田区〇〇
3	住所(フリガナ)		トウキョウトチヨダク〇〇
4	郵便番号		1000006
5	メールアドレス		info@〇〇.com

Below the table, the 'Excelセル値取得 パラメータ' section is visible, showing fields for 'ブック名', 'シート名', '列番号', '行番号', '取得先変数名', and '待ち時間'.

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -1

① サンプルアプリの「申込情報」を操作するアクションを追加していきます。

The Excel spreadsheet shows a table with the following data:

1	申込日	法人・個人	会員種類	企業名	企業名(フリガナ)	部署名	店舗名	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別
2	2019/9/18	法人	正会員	株式会社〇〇	カブシキガイシャ〇〇	営業部	大手町店	〇内 × 介	〇ウチ × スケ	1999/1/1	男
3	① 10/15	② 法	賛助会員	△△株式会社	△△カブシキガイシャ	総務部	神田店	池▽ 絵里◇	イケ▽ エリ◇	1987/2/2	女
4	2020/1/5	個人					松戸店	宇都■ × △	ウツノ■ × △	1985/3/3	男
5	2020/1/10	個人					さいたま店	〇脇 ◇ 衆	〇ワキ ◇ ナ	1993/4/4	女

The application form below has the following fields:

- 申込情報: 申込日 (①), 〇個人 〇法人 (②)
- 法人会員情報: 企業名, 部署名, 代表電話, 代表メール, 企業名カナ, 会員種類 (〇正規 〇賛助)
- 会員情報: 申込店, 氏名, 生年月日, 住所, 会員電話, 会員メール, 〇男 〇女

Callouts and instructions:

- Blue box: サンプルデータの「法人・個人」の値を基にどちらかをチェックする (Based on the values of '法人・個人' in the sample data, check one of the two options.)
- Red box: サンプルデータから取得した値をセット (Set the value obtained from the sample data.)

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -2

- ② まず、サンプルアプリの「申込日」に値をセットするアクションを登録します。

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報
申込日: ○個人 ○法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:
会員種類: ○正規 ○賛助

会員情報
申込店: 氏名: ○男 ○女
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

サンプルデータから取得した値をセット

登録 クリア 閉じる

- ③ 以下画像のように、サンプルアプリの「申込日」に値をセットするアクションを追加します。

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名

申込情報
申込日: ○個人 ○法人

法人会員情報
企業名:
部署名:

会員情報
申込店: 氏名:
生年月日: 会員電話:

③ 「値セット(Y)」を選択

共通(R)
ウィンドウ(S)
項目(T)
リンク(U)
エディット(V)
チェックボックス(W)
ラジオボタン(X)
アプリケーション(Y)
エクセル(Z)

値セット(Y)
値取得(Z)

3. シナリオを作成してみよう

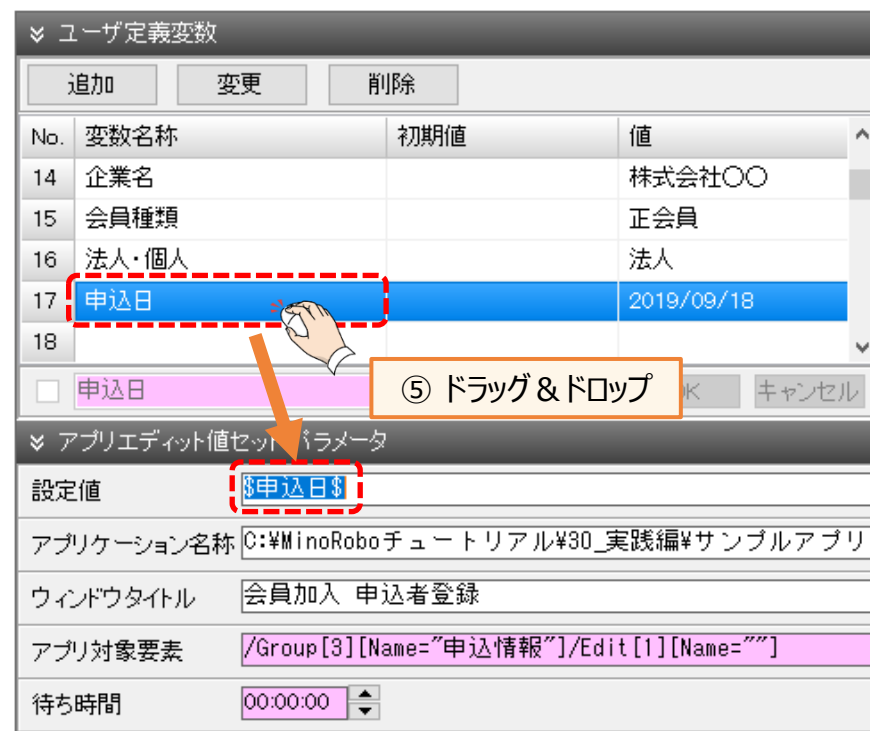
◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -3

- ④ シナリオ画面に「アプリエディット値セット」が追加されたことを確認します。



追加したアクションの名前は適宜変更しておきます。

- ⑤ パラメータエリアの「設定値」にユーザ定義変数の「申込日」をドラッグ＆ドロップで指定します。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -4

- ⑥ 続けて、サンプルアプリの「個人・法人」にチェックをするアクションを登録します。

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:
会員種類
☐ 正規 ☐ 賛助

会員情報
申込店: 氏名: 氏名カナ:
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:
☐ 男 ☐ 女

登録 クリア 閉じる

サンプルデータの「法人・個人」の値を基にどちらかをチェックする

- ⑦ まずはチェックするアクションを追加します。

以下画像のように、サンプルアプリの「個人」と「法人」のラジオボタンをチェックする2つのアクションを追加します。

「個人」に対する操作

⑦ 「ラジオボタン(X)」→「クリック(Z)」を選択

氏名: 氏名カナ:
会員電話: 会員メール:

「法人」に対する操作

⑦ 「ラジオボタン(X)」→「クリック(Z)」を選択

氏名: 氏名カナ:
会員電話: 会員メール:

3. シナリオを作成してみよう

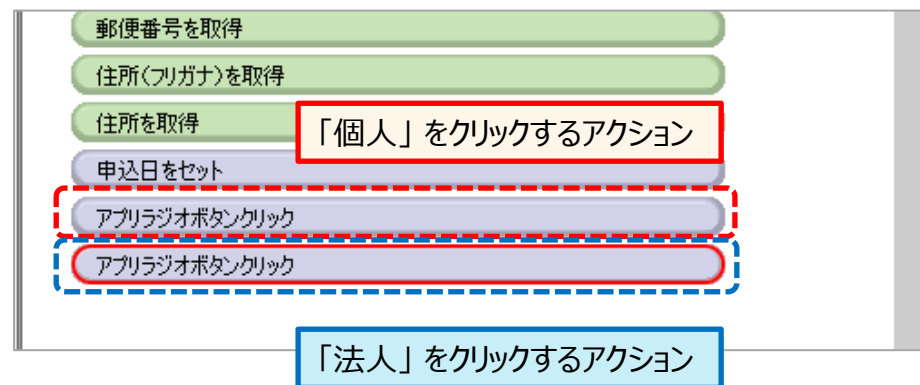
◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -5

⑧ シナリオ画面に「アプリラジオボタンクリック」が追加されたことを確認します。



追加したアクションの名前は適宜変更しておきます。

⑨ 追加した「アプリラジオボタンクリック」を条件付きで動作するようにします。

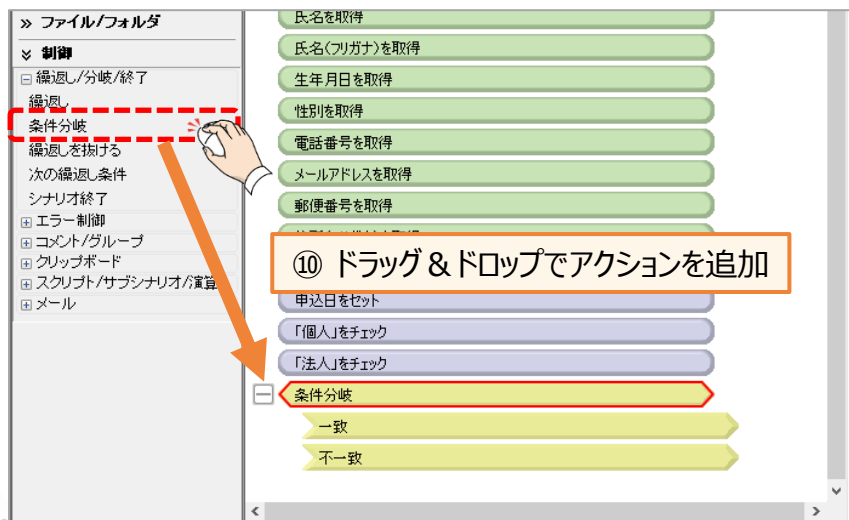


3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -6

- ⑩ アクション選択エリアの「制御」→「繰返し/分岐/終了」→「条件分岐」を選択し、実行順序エリアにドラッグ & ドロップします。

- ⑪ パラメータエリアの「分岐条件」に操作を分岐させるための条件を指定する必要があります。指定する条件は
ユーザ定義変数の「法人・個人」の値が「個人」の場合とします。条件の指定方法については次ページ以降で行います。



ポイント

条件分岐とは、条件によって実行するアクションを分岐させたい場合に利用するアクションです。
パラメータの「分岐条件」に指定した条件に「一致」または「不一致」した場合のそれぞれの操作を登録することが可能です。

パラメータエリアの「分岐条件」の指定方法は、以下の2通りあります。

- 1) 分岐条件を手入力する
- 2) 「式エディタ画面」を使用して分岐条件を指定する

次ページ以降ではそれぞれの指定方法をご紹介します。
操作内容に違いはありませんので、わかりやすいほうで対応してください。

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -7

⑫ パラメータ「分岐条件」を手入力する場合



ポイント

ユーザ定義変数や手入力した文字をダブルクォーテーション (") で囲む必要がある場面は、**文字や文字列の「比較／操作」を手入力して記述する時だけです。**
数字のみを扱う場合や式エディタを利用する場合は囲む必要はありません。
※文字列とは、単語や文章のような文字が連なったものを指します。

- 文字や文字列の「比較／操作」が記述可能なアクションパラメータ
 - ・「繰返し」アクション → パラメータ「繰返し条件」
 - ・「条件分岐」アクション → パラメータ「分岐条件」
 - ・「変数演算」アクション → パラメータ「式」

イメージとしては、Excel関数に文字や文字列を指定する場合にその文字や文字列をダブルクォーテーション (") で囲むのと同様の考え方になります。

No.	変数名	初期値	値
14	企業名		株式会社〇〇
15	会員種類		正会員
16	法人・個人		法人
17	申込日		2019/09/18
18			

分岐条件
\$法人・個人\$

分岐条件
\$法人・個人\$ = "個人"

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -8

⑬ パラメータ「分岐条件」を 式エディタで指定する 場合

アイコンをクリック

式エディタが表示される

条件を指定した状態。
※ダブルクォーテーション (") は不要です。

条件の指定完了後、OKをクリックします。

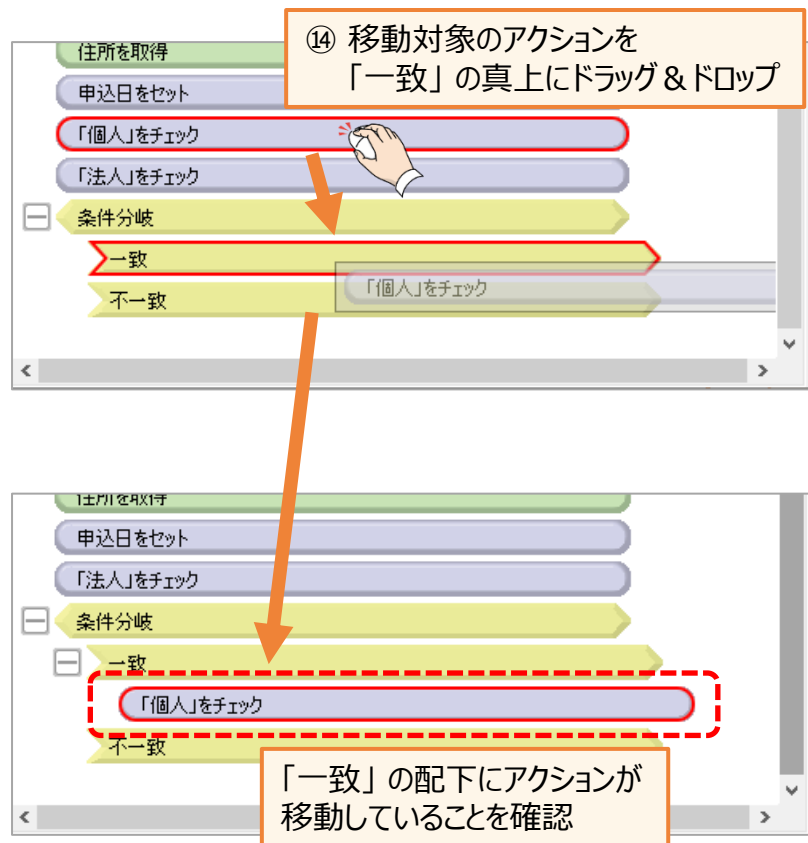
分岐条件に [値の比較] と記述されていることを確認

赤枠部分に条件を指定します。
①入力値 … 比較元を指定します。
②比較値 … 「入力値」に対する比較値を指定します。
③比較方法 … リストから比較方法を選択して指定します。

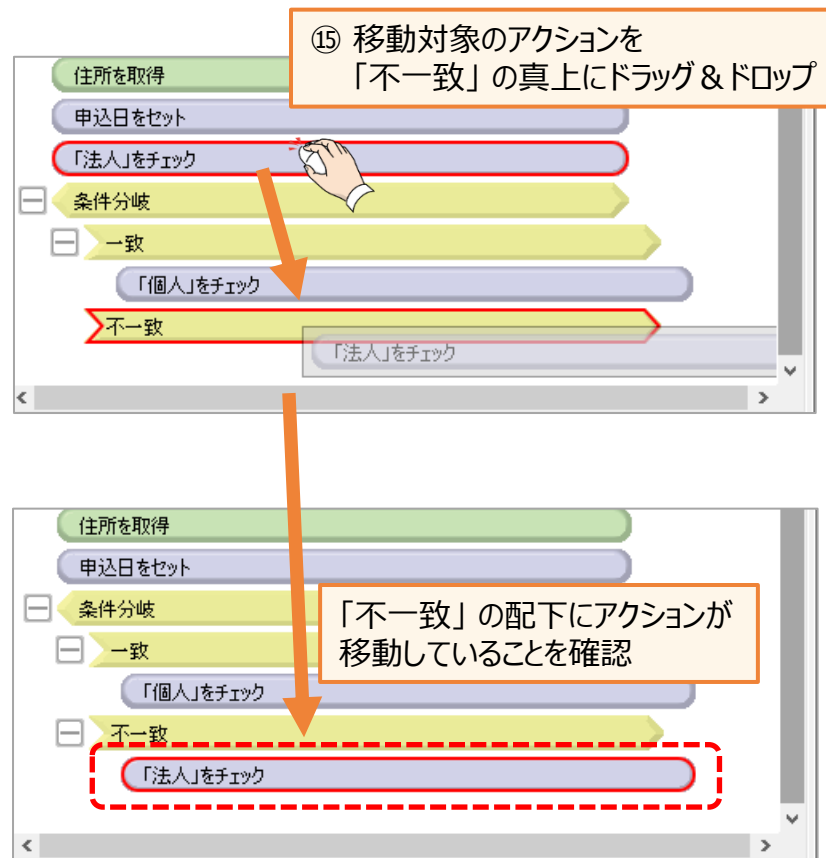
3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「申込情報」を操作する -9

- ⑭ 条件分岐の「一致」の配下に「個人」をチェックするアクションを移動させます。



- ⑮ 条件分岐の「不一致」の配下に「法人」をチェックするアクションを移動させます。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -1

① サンプルアプリの「法人会員情報」を操作するアクションを追加していきます。

「法人会員情報」に対する操作は、**ユーザ定義変数の「法人・個人」の値が「法人」の場合のみ** 動作するようにします。

サンプルデータ.xlsx - Excel

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
	申込日	法人・個人	会員種類	企業名	企業名(フリガナ)	部署名	店舗名	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別
1	2019/9/18	法人	正会員	株式会社〇〇	カブシキガイシャ〇〇	営業部	大手町店	〇内 ×介	〇ウチ ×スケ	1999/1/1	男
2	2019/10/15	法人	賛助会員	△△株式会社	△△カブシキガイシャ	総務部	神田店	池▽ 絵里◇	イケ▽ エリ◇	1987/2/2	女
3	2020/1/5	個人					松戸店	宇都■ ×△	ウツノ■ ×△	1985/3/3	男
4	2020/1/10	個人					さいたま店	〇脇 ◇菜	〇ワキ ◇ナ	1993/4/4	女

会員登録 申込書登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報

企業名: ④ 企業名カナ: ⑤
部署名: ⑥ 代表電話: 代表メール:

会員種類
☐ 正規 ☐ 賛助

③

会員情報
申込店: 氏名: 氏名カナ:
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

登録 クリア 閉じる

サンプルデータから取得した値をセット

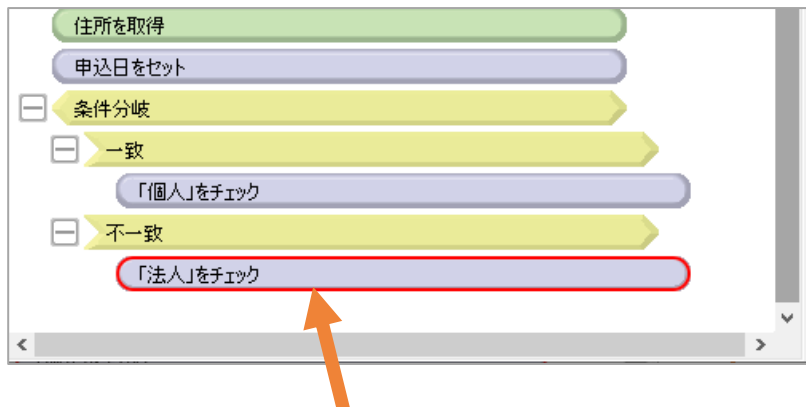
サンプルデータの「会員種類」の値を基にどちらかをチェックする

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -2

- ② 前頁までに追加した条件分岐の「不一致」が「法人」に対する操作になるため、その配下にアクションを追加していきます。

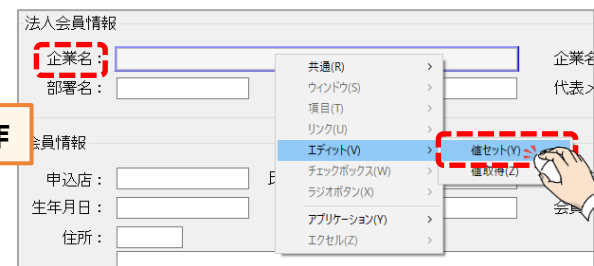
※ 以降の操作を行う前に、「不一致」の配下にあるアクションを選択しておいてください。



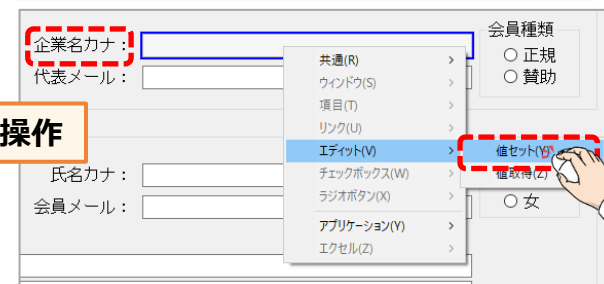
- ② このアクションの下に追加していく
※「不一致」の配下にあるアクションが選択された状態にしておきます。

- ③ まず、サンプルアプリの「企業名」「企業名カナ」「部署名」に対して値をセットするアクションを登録します。

「企業名」に対する操作



「企業名カナ」に対する操作



「部署名」に対する操作



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -3

④ 「不一致」の配下にある「法人をチェック」の下に「アプリエディット値セット」が3つ追加されたことを確認します。

条件分岐

- 一致
 - 個人をチェック
- 不一致
 - 法人をチェック
 - アプリエディット値セット
 - アプリエディット値セット
 - アプリエディット値セット

「企業名」に対する操作

「企業名カナ」に対する操作

「部署名」に対する操作

追加したアクションの名前は適宜変更しておきます。

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -4

⑤ 「アプリエディット値セット」のそれぞれのパラメータ「設定値」にユーザ定義変数を設定する。

「企業名」に対する操作

「企業名カナ」に対する操作

「部署名」に対する操作

No.	変数名	初期値	値
11	店舗名		大手町店
12	部署名		営業部
13	企業名(フリガナ)		カブシキガイシャ〇〇
14	企業名		株式会社〇〇
15	会員種類		正会員

設定値: \$企業名\$

No.	変数名	初期値	値
11	店舗名		大手町店
12	部署名		営業部
13	企業名(フリガナ)		カブシキガイシャ〇〇
14	企業名		株式会社〇〇
15	会員種類		正会員

設定値: \$企業名(フリガナ)\$

No.	変数名	初期値	値
11	店舗名		大手町店
12	部署名		営業部
13	企業名(フリガナ)		カブシキガイシャ〇〇
14	企業名		株式会社〇〇
15	会員種類		正会員

設定値: \$部署名\$

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -5

- ⑥ 続けて、サンプルアプリの「正規・賛助」にチェックをする
アクションを登録します。

会員登録 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:

会員情報
申込店:
生年月日:
住所:

会員種類
☐ 正規
☐ 賛助

○ 男
○ 女

登録 クリア 閉じる

サンプルデータの「会員種類」の値を
基にどちらかをチェックする

- ⑦ まずはチェックするアクションを追加します。
アクションの追加手順は **P.35** を参考に対応してください。

条件分岐

一致

個人をチェック

不一致

法人をチェック

企業名をセット

企業名(カナ)をセット

部署名をセット

「正規」をクリックするアクション

アプリラジオボタンクリック

アプリラジオボタンクリック

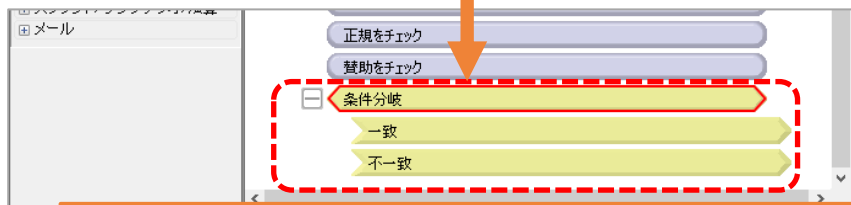
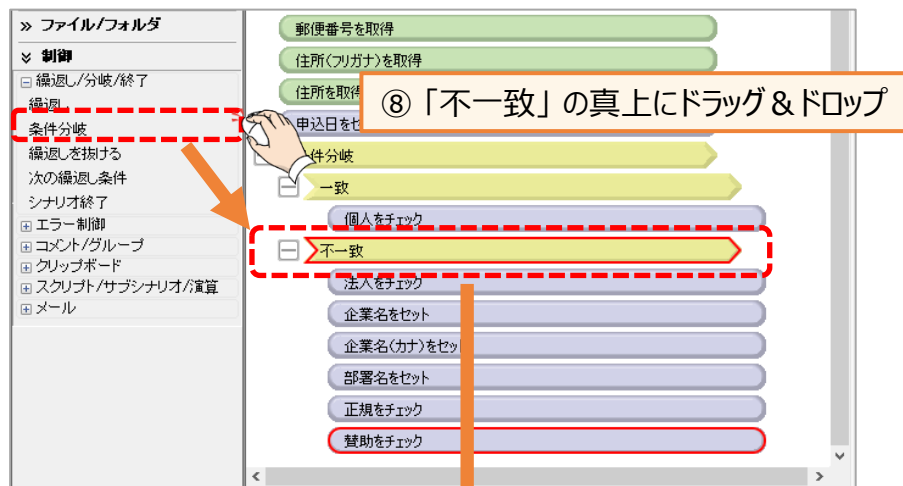
「賛助」をクリックするアクション

追加したアクションの名前は適宜変更しておきます。

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -6

- ⑧ アクション選択エリアの「制御」→「繰返し/分岐/終了」→「条件分岐」を選択し、実行順序エリアの「不一致」の真上にドラッグ＆ドロップします。

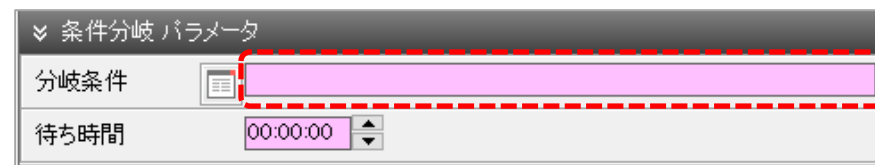


「条件分岐」が「不一致」の一番下に追加されることを確認

- ⑨ パラメータエリアの「分岐条件」に、動作を分岐させるための条件を指定する必要があります。指定する条件は

ユーザ定義変数の「会員種類」の値が「正会員」の場合とします。

条件の指定手順は [P.38、39](#) を参考に対応してください。



3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -7

⑩ パラメータ「分岐条件」を指定すると以下ようになります。

手入力 で指定した場合

条件分岐 パラメータ

分岐条件	<input type="text" value="\$会員種類\$ = 正会員"/>
待ち時間	<input type="text" value="00:00:00"/>

式エディタ で指定した場合

式エディタ

演算式の選択

- 値の比較
- 手入力

入力値

比較値

比較方法

2つの値を比較して条件を満たす場合、Trueを返します。

結果

OK キャンセル

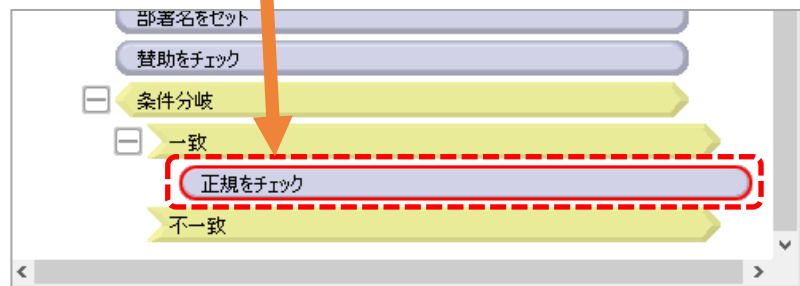
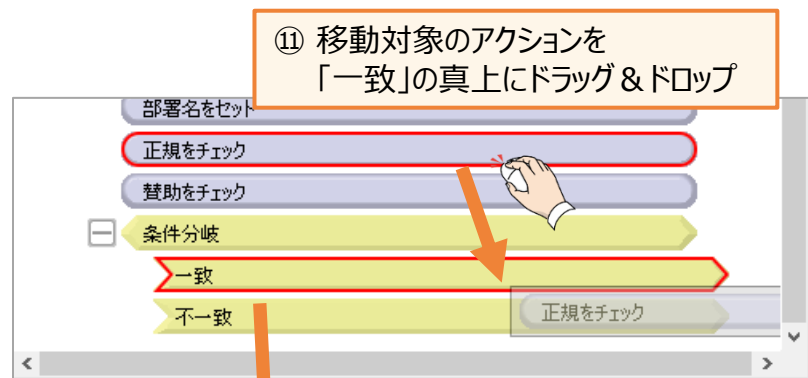
条件分岐 パラメータ

分岐条件	<input type="text" value="[[値の比較]]"/>
待ち時間	<input type="text" value="00:00:00"/>

3. シナリオを作成してみよう

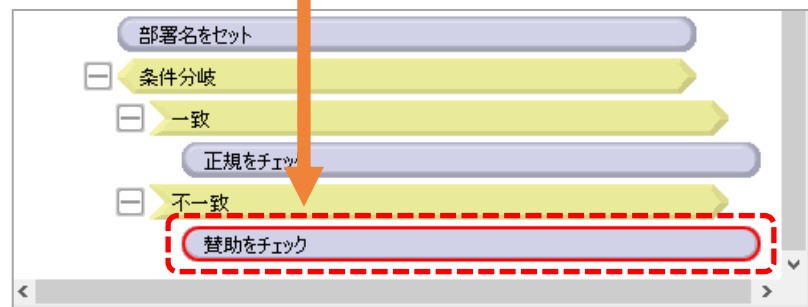
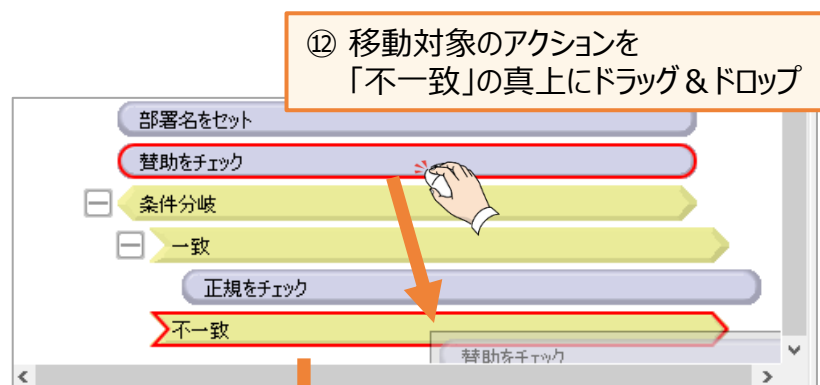
◎ サンプルアプリの「法人会員情報」を操作する -8

- ⑪ 条件分岐の「一致」の配下に「正規」をチェックするアクションを移動させます。



「一致」の配下にアクションが移動していることを確認

- ⑫ 条件分岐の「不一致」の配下に「賛助」をチェックするアクションを移動させます。



「不一致」の配下にアクションが移動していることを確認

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「会員情報」を操作する -1

① サンプルアプリの「会員情報」を操作するアクションを追加していきます。

以下 **赤枠** の部分に関しては **無条件** で動作するようにします。

サンプルデータ.xlsx - Excel

	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	部署名	店舗名	氏名	氏名(フリガナ)	生年月日	性別	電話番号	メールアドレス	郵便番号	住所(フリガナ)	住所
2	営業部	大手町店	○内 ×介	○ウチ ×スケ	1999/1/1	男	03-1111-2222	info@○.com	1000006	トウキョウトチヨダク○	東京都千代田区○
3	総務部	神田店	池▽ 絵田△	イケ▽ エリ△	1997/12/2	女	03-3222-4444	info△△.com	1000006	トウキョウトチヨダク△	東京都千代田区△△
4		松 ⑦	宇都 ⑧ △	ウツ ⑨ △	1997/3/3	男 ⑩ ⑪	080-⑫ 6666	■×△ ⑬ nbjkfg	12 ⑭	チバケンマ ⑮ ■×△	千葉県松 ⑯ ■×△
5		さいたま店	○脇 △米	○ワキ △ナ	1993/4/4	女	090-1111-8888	○◇@urmsja.mmn	9876543	サイタマケンファイタマシ○◇	埼玉県さいたま市○◇
6											
7											

会員登録申込書登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報

申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報

企業名:
部署名: 代表電話: 代表メール: ☐ 正社員 ☐ 賛助

会員情報

申込店: ⑦ 氏名: ⑧ 氏名カナ: ⑨
生年月日: ⑩ 会員電話: ⑫ 会員メール: ⑬
住所: ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

⑪
☐ 男
☐ 女

登録 フリガナ 閉じる

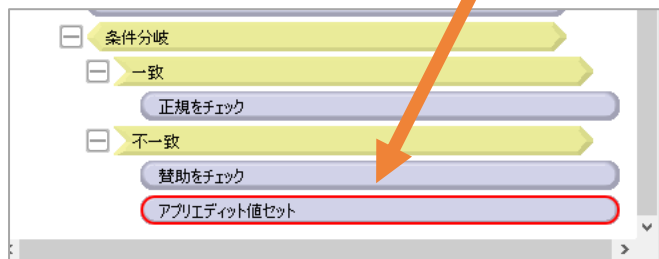
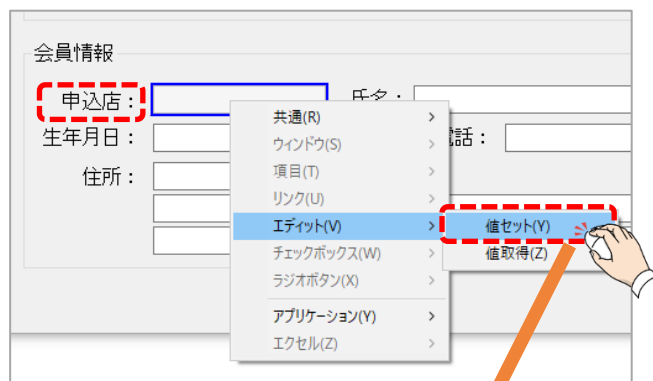
サンプルデータから取得した値をセット

サンプルデータの「性別」の値を
基にどちらかをチェックする

3. シナリオを作成してみよう

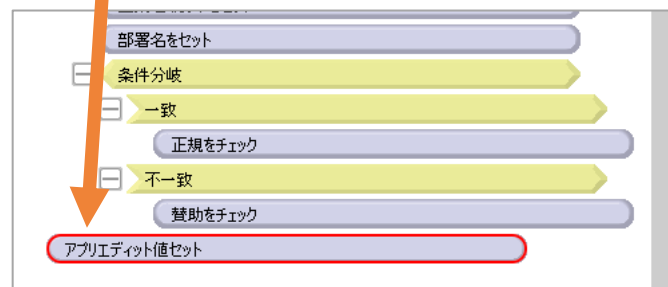
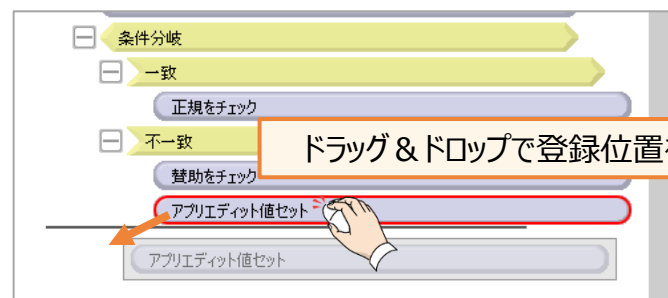
◎ サンプルアプリの「会員情報」を操作する -2

- ② まず、サンプルアプリの「申込店」に対して値をセットするアクションを登録します。



- ③ シナリオ画面を確認すると、「賛助をチェック」の下にアクションが追加されていることが確認できます。

この状態では、追加したアクションが無条件で実行されないため、アクションの登録位置を変更します。



- ③ 条件分岐の外側にアクションが移動したことを確認

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「会員情報」を操作する -3

④ パラメータエリアの「設定値」にユーザ定義変数の「店舗名」をドラッグ＆ドロップで指定します。

The screenshot displays two panels from a software application. The top panel, titled 'ユーザ定義変数' (User Defined Variables), contains a table with columns 'No.', '変数名称' (Variable Name), '初期値' (Initial Value), and '値' (Value). It lists five variables: '氏名' (Name), '店舗名' (Store Name), '部署名' (Department Name), '企業名(フリガナ)' (Company Name (Kana)), and '企業名' (Company Name). The '店舗名' row is highlighted in blue, and a red dashed box is drawn around it. An orange arrow points from this row to the '設定値' (Setting Value) field in the bottom panel. The bottom panel, titled 'アプリエディット値セット パラメータ' (App Edit Value Set Parameter), shows various fields for configuring an application. The '設定値' field is highlighted with a red dashed box and contains the text '\$店舗名\$'. An orange box with the text '④ ドラッグ＆ドロップ' (④ Drag & Drop) is positioned between the two panels, indicating the action being performed. Other fields in the bottom panel include 'アプリケーション名称' (Application Name), 'ウィンドウタイトル' (Window Title), 'アプリ対象要素' (App Target Element), and '待ち時間' (Waiting Time).

No.	変数名称	初期値	値
10	氏名		〇内 ×介
11	店舗名		大手町店
12	部署名		営業部
13	企業名(フリガナ)		カブシキガイシャ〇〇
14	企業名		株式会社〇〇

④ ドラッグ＆ドロップ

設定値: \$店舗名\$

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリの「会員情報」を操作する -4

⑤ 残りの項目についてもアクションを登録していきます。

アクション登録後のイメージは以下画像の通りです。

条件分岐

一致

正規をチェック

不一致

賛助をチェック

申込店をセット

氏名をセット

氏名カナをセット

生年月日をセット

会員電話をセット

会員メールをセット

郵便番号をセット

住所カナをセット

住所をセット

条件分岐

一致

性別「男」をチェック

不一致

性別「女」をチェック

値をセットするアクションを追加

- ・氏名
- ・氏名カナ
- ・生年月日
- ・会員電話
- ・会員メール
- ・住所欄の「郵便番号」
- ・住所欄の「住所カナ」
- ・住所欄の「住所」

「性別」をチェックする操作は、パラメータの「分岐条件」に以下の条件を指定して操作を登録しておいてください。

サンプルデータの「性別」の値が「男」の場合

① サンプルアプリの「登録」ボタンを操作するアクションを追加していきます。

会員登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名

申込情報

申込日： ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報

企業名： 企業名カナ：
 部署名： 代表電話： 代表メール：

会員種別
☐ 正規
☐ 賛助

会員情報

申込店： 氏名： 氏名カナ：
 生年月日： 会員電話： 会員メール：

☐ 男
☐ 女

住所：

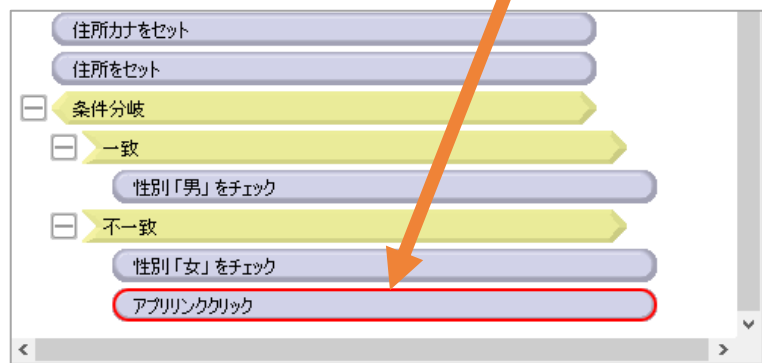
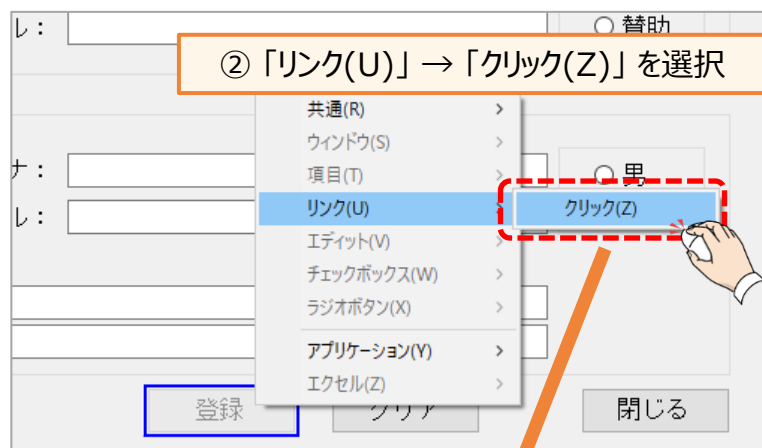
登録
クリア
閉じる

「登録」ボタンをクリックす

3. シナリオを作成してみよう

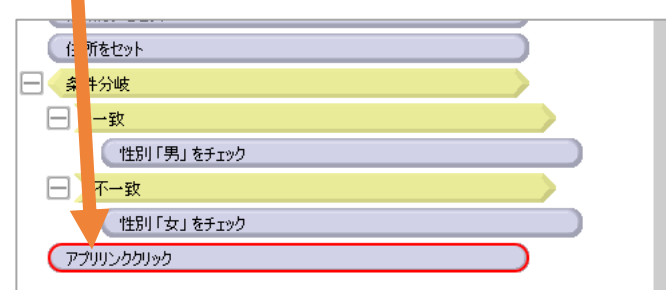
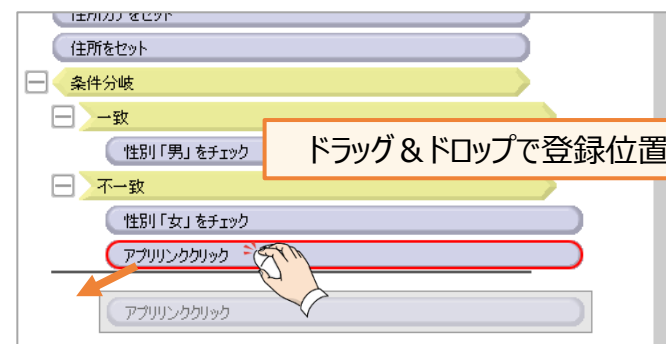
◎ サンプルアプリの「登録」ボタンをクリックする -2

- ② 以下画像のように、サンプルアプリの「登録」をクリックするアクションを登録します。



- ③ シナリオ画面を確認すると、「性別「女」をチェック」の下にアクションが追加されていることが確認できます。

この状態では、追加したアクションが無条件で実行されないため、アクションの登録位置を変更する必要があります。



- ③ 条件分岐の外側にアクションが移動したことを確認

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリに対するアクションを連続で実行する -1

① ここまで登録してきたサンプルアプリに対するアクションを連続で動かしてみましょう。

シナリオ画面の「申込日をセット」を選択し、メイン画面の「選択アクションから実行」をクリックします。

The screenshot shows a scenario editor interface. On the left, a list of actions is displayed, including '郵便番号を取得', '住所(フリガナ)を取得', '住所を取得', '申込日をセット', '条件分岐', '一致', '個人をチェック', '不一致', '法人をチェック', '企業名をセット', '企業名(カナ)をセット', '部署名をセット', '条件分岐', and '一致'. The '申込日をセット' action is highlighted with a red dashed box. An orange arrow points from this box to a control bar on the right. The control bar contains several icons: a gear, a question mark, a play button, a pause button, a fast forward button, and a '選択アクションから実行' button. The '選択アクションから実行' button is highlighted with a red dashed box and a hand icon. A text box above the control bar says '①「選択アクションから実行」をクリック'. A lightbulb icon and the word 'ポイント' (Point) are also present. A text box below the lightbulb says '「選択アクションから実行」は、選択中のアクションを起点に以降のアクションを全て実行してくれる機能です。'

①「申込日をセット」を選択

①「選択アクションから実行」をクリック

ポイント

「選択アクションから実行」は、選択中のアクションを起点に以降のアクションを全て実行してくれる機能です。

3. シナリオを作成してみよう

◎ サンプルアプリに対するアクションを連続で実行する -2

② サンプルアプリに対するアクションが連続で実行されることを確認します。

※サンプルアプリに入力した内容がリストに登録されていれば実行は完了です。

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/相当名
法人	正規	大手町店	大手町店	株式会社〇〇	営業部	〇内 ×介

② 登録ボタンをクリックするところまでが動作し、
入力した内容がリストに登録されることを確認

申込情報

申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報

企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:
会員種類: ☐ 正規 ☐ 賛助

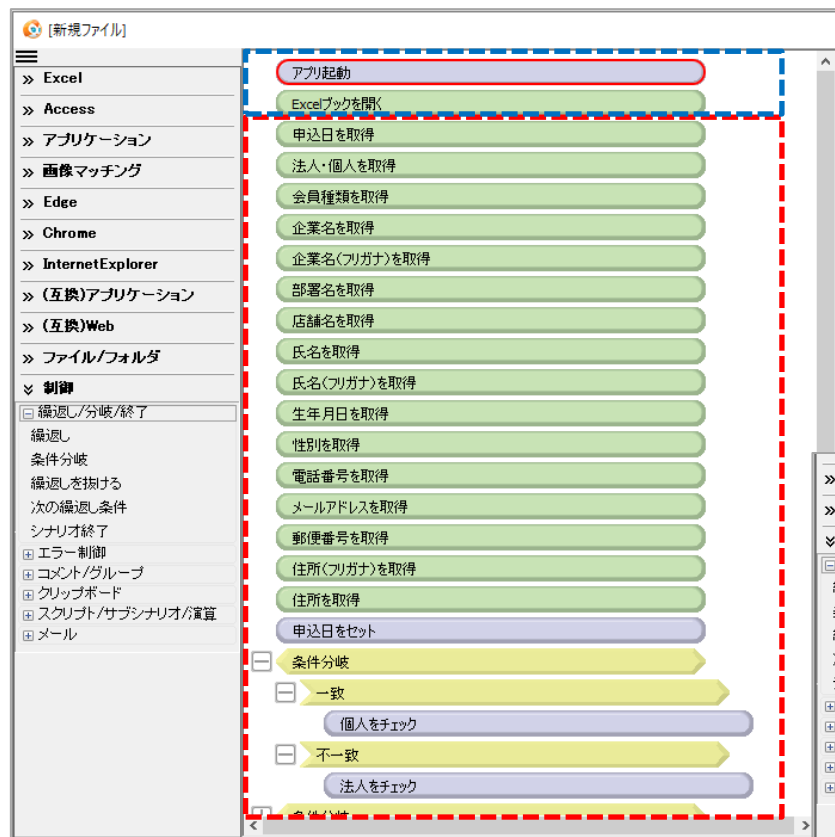
会員情報

申込店: 氏名: 氏名カナ: ☐ 男 ☐ 女
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

3. シナリオを作成してみよう

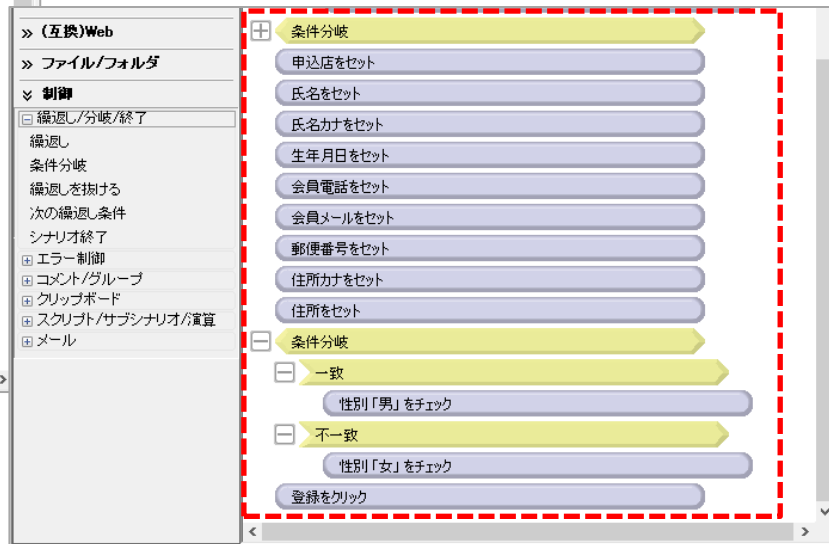
◎ シナリオを繰り返し実行されるように変更する -1

① ここまで登録してきたアクションを繰り返し実行できるようにシナリオを変更していきます。



赤枠部分が繰り返し実行させるアクションです。
※「サンプルデータから値を取得」→「サンプルアプリの操作」を
繰り返しの対象とするイメージです。

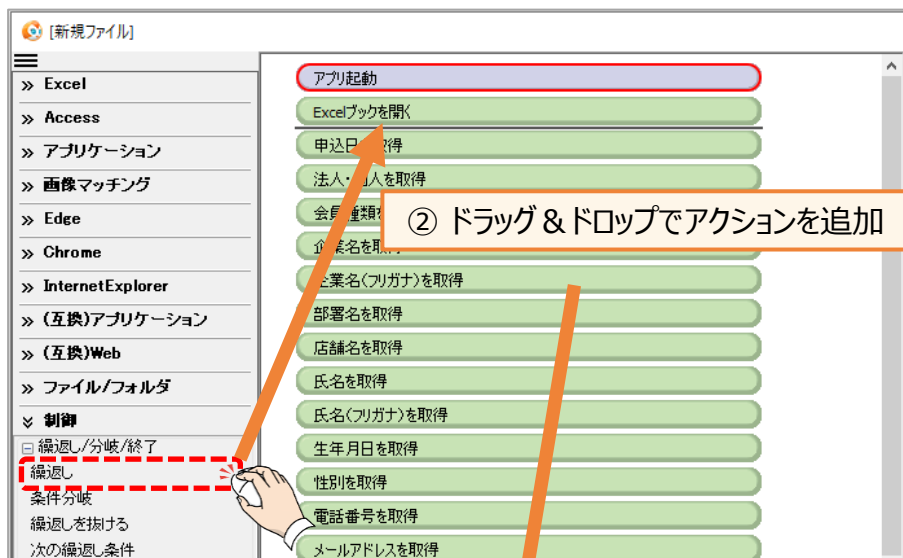
青枠部分はシナリオ内で一回だけ実行すればよいアクションです。



3. シナリオを作成してみよう

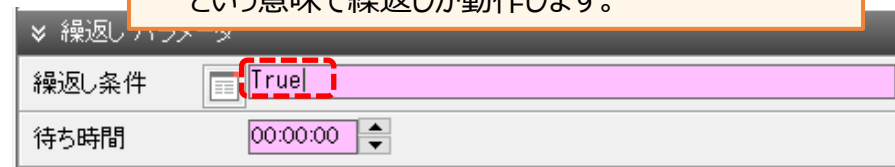
◎ シナリオを繰り返し実行されるように変更する -2

- ② アクション選択エリアの「制御」→「繰り返し/分岐/終了」
→「繰り返し」を選択し、実行順序エリアの
「Excelブックを開く」と「申込日を取得」の間に
ドラッグ＆ドロップします。



- ③ パラメータエリアの「繰り返し条件」に繰り返す条件を指定する
必要があります。繰り返す条件は
常に繰り返す（永久ループ）
とします。

- ③ パラメータ「繰り返し条件」に「True」と記載すると
常に条件に該当した状態
という意味で繰り返しが動作します。



ポイント

「繰り返し」アクションは、パラメータ「繰り返し条件」に
指定した条件に該当している間、動作を繰り返します。
条件の指定方法は「条件分岐」アクションと同様です。

3. シナリオを作成してみよう

◎ シナリオを繰り返し実行されるように変更する -3

④ 「繰り返し」アクションの配下に **繰り返し実行したいアクション** を登録するために、繰り返し対象のアクションを複数選択の状態にします。

The screenshot displays the SCSK Minori Solutions Corporation software interface. The left pane shows a list of actions, and the right pane shows a detailed view of the selected actions.

Left Pane (Actions List):

- アプリ起動
- Excelブックを開く
- 繰り返し
- 申込日を取得
- 法人・個人を取得
- 会員種別を取得
- 企業名を取得
- 企業名(フリガナ)を取得
- 部署名を取得
- 店舗名を取得
- 氏名を取得
- 氏名(フリガナ)を取得
- 生年月日を取得
- 性別を取得
- 電話番号を取得
- メールアドレスを取得
- 郵便番号を取得
- 住所(フリガナ)を取得
- 住所を取得
- 申込日をセット
- 条件分岐
- 一致
- 個人をチェック
- 不一致

Right Pane (Detailed View):

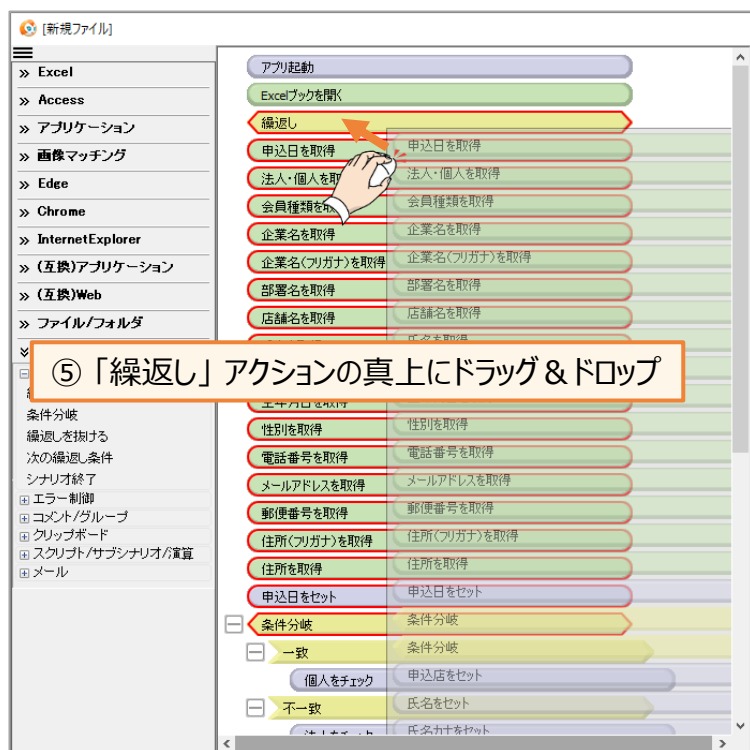
- 条件分岐
- 申込日をセット
- 氏名をセット
- 氏名カナをセット
- 生年月日をセット
- 会員電話をセット
- 会員メールをセット
- 郵便番号をセット
- 住所カナをセット
- 住所をセット
- 条件分岐
- 一致
- 性別「男」をチェック
- 不一致
- 性別「女」をチェック
- 登録をクリック

Annotation: ④ 「申込日を取得」から一番下の「登録をクリック」までをまとめて選択

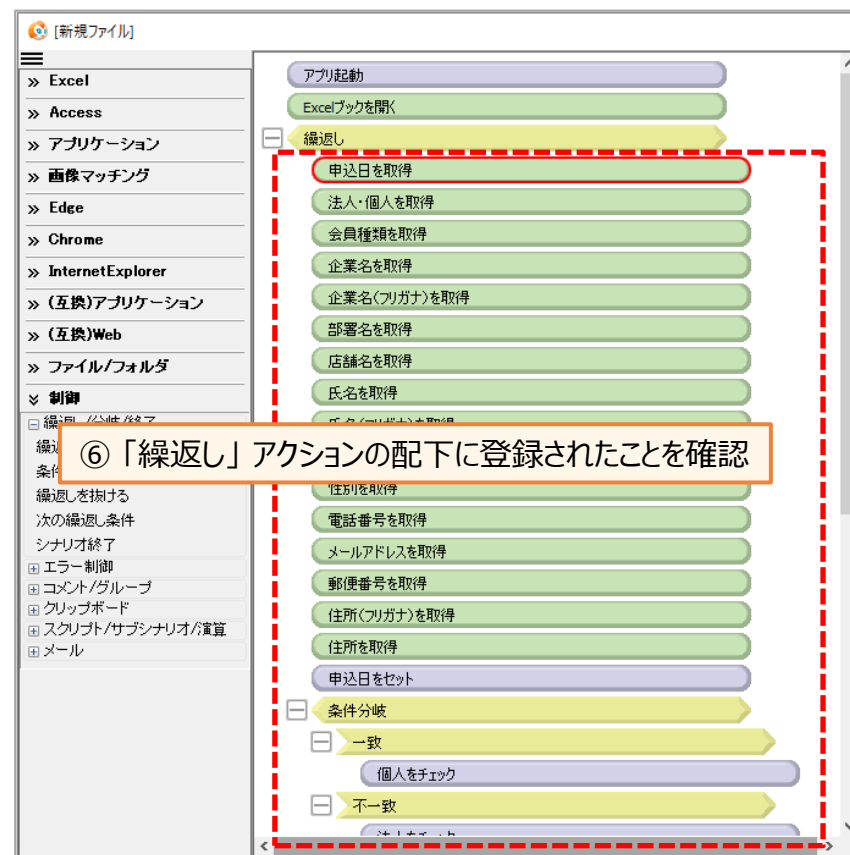
3. シナリオを作成してみよう

◎ シナリオを繰り返し実行されるように変更する -4

- ⑤ 選択したアクションのいずれかをドラッグして、「繰返し」アクションの真上でドロップします。
- ※ 以下の画像では「申込日を取得」をドラッグして、繰返しアクションの真上でドロップしています。



- ⑥ 「繰返し」アクションの配下に選択していたアクションが登録されたことを確認します。
- ※ 一段下がった状態で登録される。

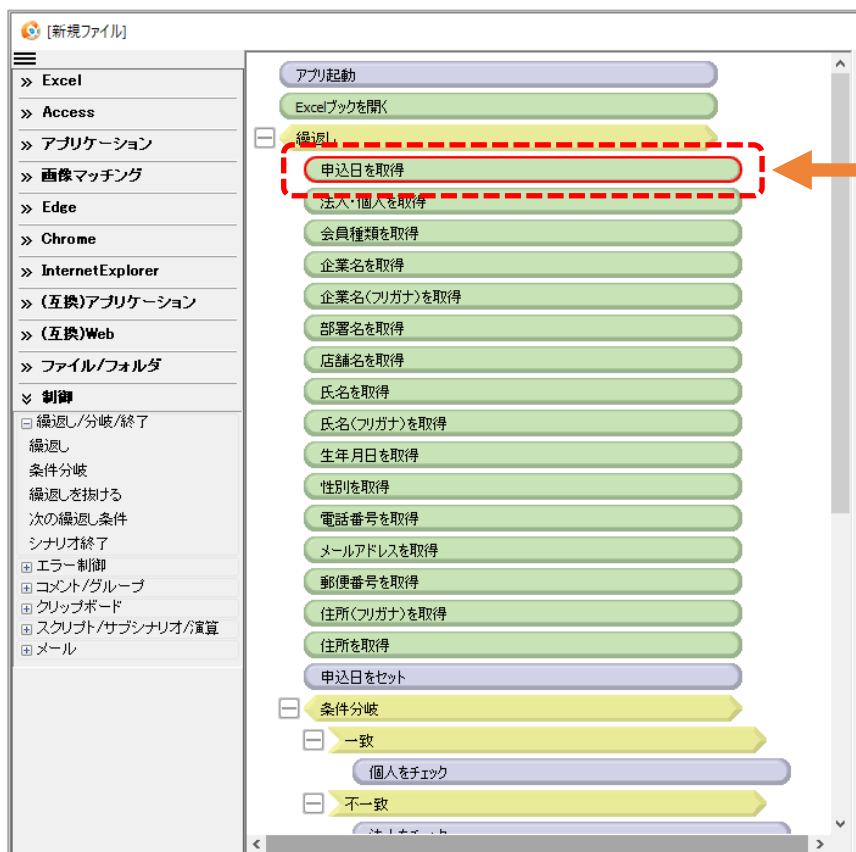


3. シナリオを作成してみよう

◎ 繰り返しの終了判定を追加する -1

- ① 「繰り返し」アクションのパラメータ「繰り返し条件」に **常に繰り返す（永久ループ）** を指定した場合は、
繰り返しを終了させるための操作を別途登録する必要があります。

当チュートリアルでは、サンプルデータの「申込日」を取得し、その値が **空白（空っぽ）** の場合に繰り返しを終了するようにします。



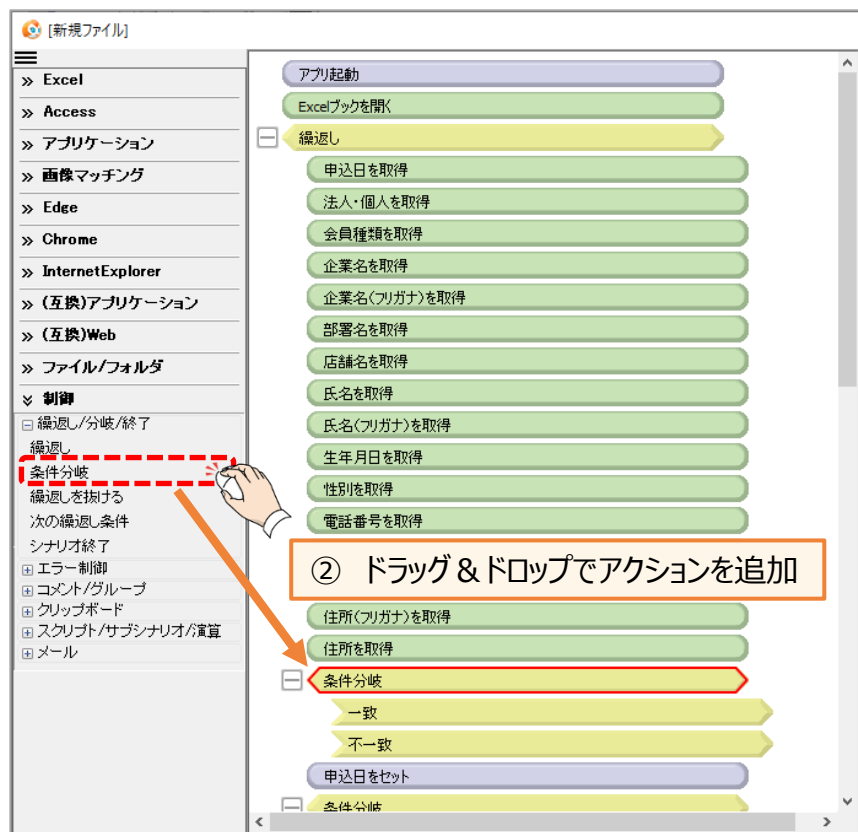
ここで取得した値が **空白（空っぽ）** の場合は、繰り返しを終了させる。

サンプルデータの「申込日」は、シナリオ内のユーザ定義変数「申込日」に格納されるため、その値が **空白（空っぽ）** でないかを「条件分岐」アクションで判定させます。

3. シナリオを作成してみよう

◎ 繰り返しの終了判定を追加する -2

- ② アクション選択エリアの「制御」→「繰り返し/分岐/終了」
→「条件分岐」を選択し、
「住所を取得」の下にドラッグ＆ドロップします。

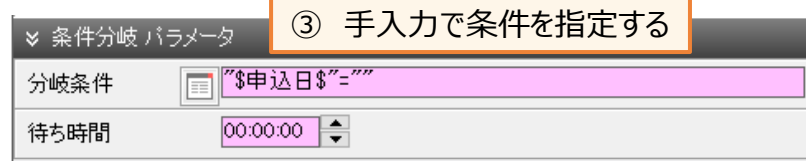


- ③ パラメータ「分岐条件」に、

ユーザ定義変数「申込日」がブランク（空っぽ）の場合
と **手入力** で指定します。

※ブランク（空っぽ）の指定は、ダブルクォーテーション（"）を
2つ並べることで指定することが可能です。

※式エディタでは ブランク（空っぽ）の指定が出来ないため、
手入力 で指定します。



ポイント

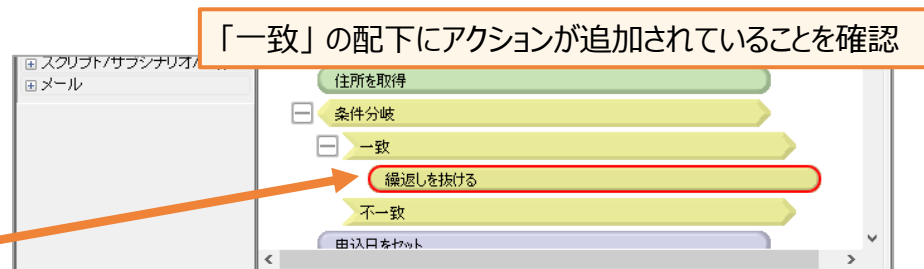
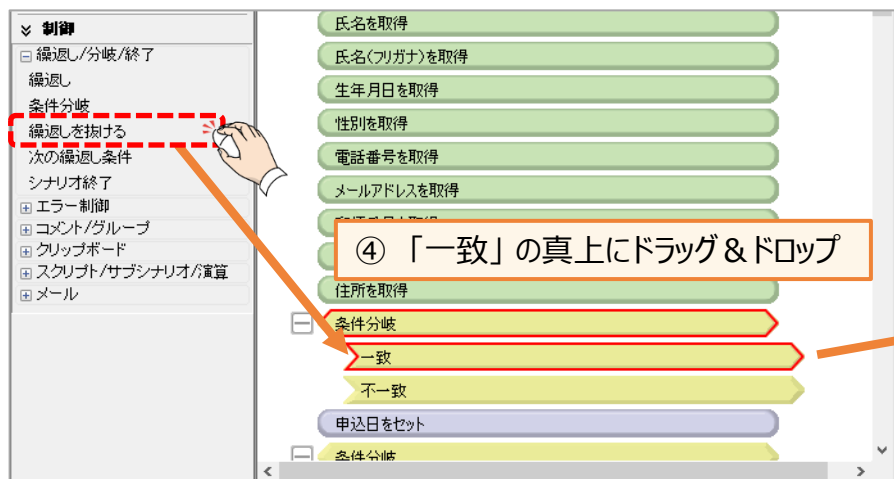
ブランク（空っぽ）の指定は、以下のアクションパラメータ
に対して手入力で指定可能です。

- ・「繰り返し」アクション → パラメータ「繰り返し条件」
- ・「条件分岐」アクション → パラメータ「分岐条件」
- ・「変数演算」アクション → パラメータ「式」

3. シナリオを作成してみよう

◎ 繰り返しの終了判定を追加する -3

- ④ アクション選択エリアの「制御」→「繰り返し/分岐/終了」→「繰り返しを抜ける」を選択し、「条件分岐」アクションの「一致」の真上にドラッグ&ドロップします。



ポイント

「繰り返しを抜ける」アクションは、**直前**の「繰り返し」アクションの動作を終了させることが出来るアクションです。

3. シナリオを作成してみよう

◎ユーザ定義変数「行」に1を加算する -1

① ここまでで 一連の操作 を登録することができました。

あとはサンプルデータを操作する時に参照する行（パラメータ『行番号』に指定した値）を 2行目、3行目、4行目... と切り替わるようにしていきます。

赤枠で囲ったアクションが
サンプルデータを操作（値取得）するアクションです。

No.	変数名称	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		東京都千代田区〇〇
3	住所(フリガナ)		トウキョウトチヨダク〇〇
4	郵便番号		1000006
5	メールアドレス		info@〇〇.com

Excelセル値取得 パラメータ

ブック名

シート名

列番号

行番号

取得先変数名

待ち時間

アクションのパラメータ「行番号」には、
ユーザ定義変数「行」を指定してあります。（P.24-26参照）

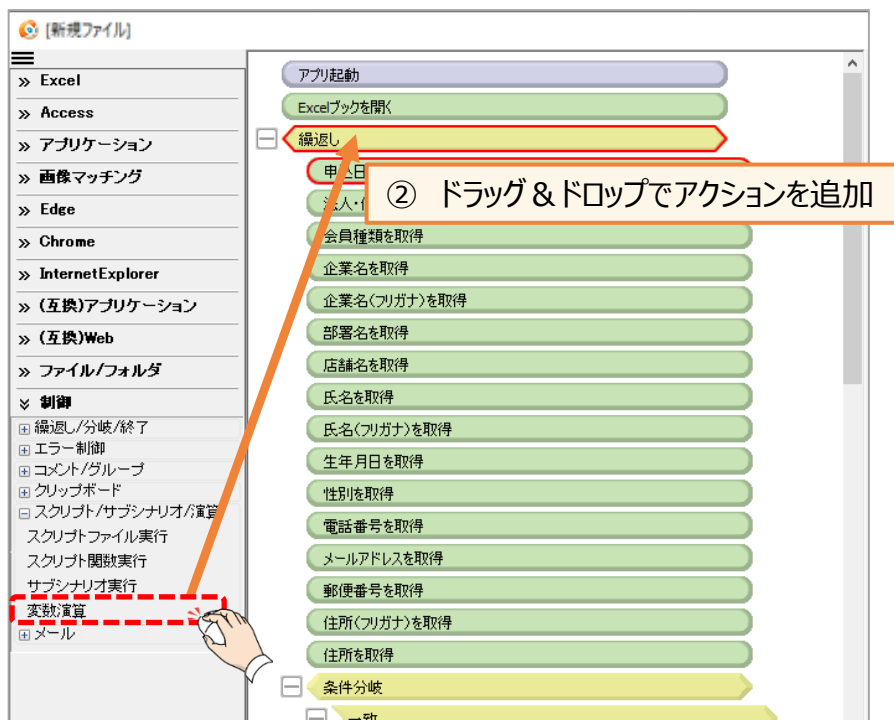
このユーザ定義変数「行」の値を、一連の操作完了後に
カウントアップ (+1) することで、2行目、3行目、4行目...と
参照する行が切り替わるようになります。

3. シナリオを作成してみよう

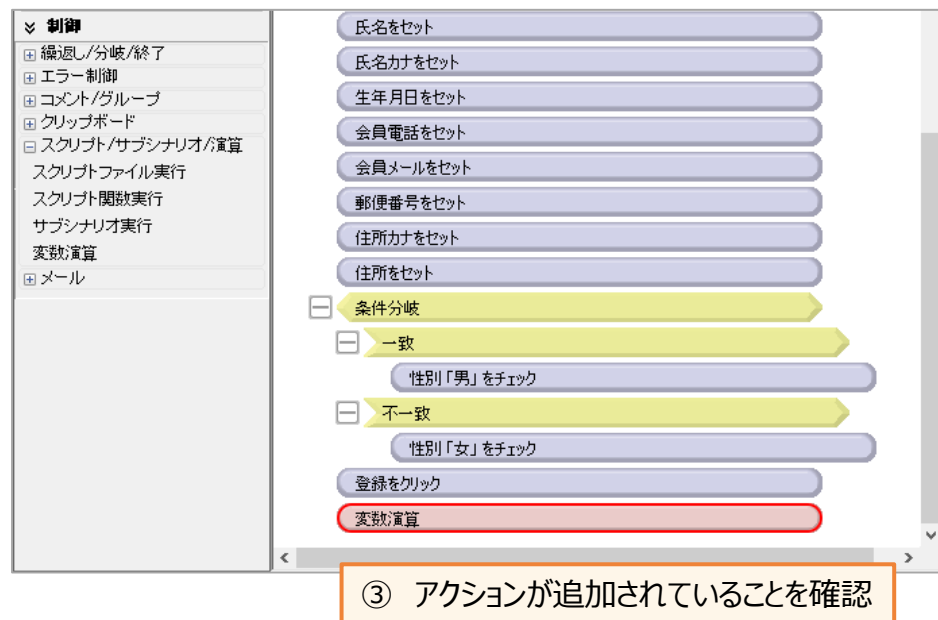
◎ユーザ定義変数「行」に1を加算する -2

② アクション選択エリアの「制御」→

「スクリプト/サブシナリオ/演算」→「変数演算」を選択し、
「繰返し」の真上にドラッグ&ドロップします。



③ シナリオ画面を下にスクロールし、「繰返し」アクションの
一番下（「登録をクリック」の下）に「変数演算」アクションが
追加されていることを確認します。



3. シナリオを作成してみよう

◎ ユーザ定義変数「行」に1を加算する -3

④ パラメータエリアの「取得先変数名」と「式」に以下の内容を指定する。

「取得先変数名」 … \$行\$

「式」 … \$行\$+1

ユーザ定義変数

No.	変数名	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		東京都千代田区〇〇
3	住所(フリガナ)		トウキョウトチヨダク〇〇
4	郵便番号		1000006
5	メールアドレス		info@〇〇.com

取得先変数名: \$行\$

式:

待ち時間: 00:00:00

ユーザ定義変数

No.	変数名	初期値	値
1	行	2	2
2	住所		東京都千代田区〇〇
3	住所(フリガナ)		トウキョウトチヨダク〇〇
4	郵便番号		1000006
5	メールアドレス		info@〇〇.com

取得先変数名: \$行\$

式: \$行\$+1

待ち時間: 00:00:00



ポイント

「変数演算」アクションで算出した結果は、パラメータ「取得先変数名」に指定したユーザ定義変数に格納されます。

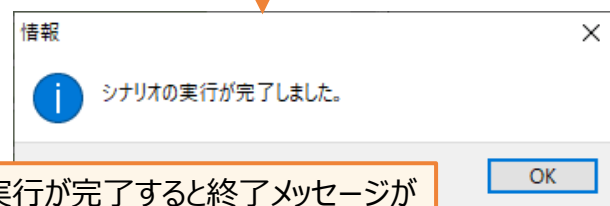
3. シナリオを作成してみよう

◎ シナリオを実行して動作を確認する

① ここまでの操作でアクションの登録は完了です。

サンプルデータとサンプルアプリを閉じて、作成したシナリオを実行してみましょう。

メイン画面の「シナリオ実行」ボタンをクリックするとアクションが先頭から順次実行されます。



実行が完了すると終了メッセージが表示されるため、OKで閉じます。

会員加入 申込者登録

区分	種類	申込店	申込日	企業名	部署名	会員名/担当名
法人	正規	大手町店	2019/09/18	株式会社〇〇	営業部	〇内 ×介
法人	賛助	神田店	2019/10/15	△△株式会社	総務部	池▽ 絵里◇
個人		松戸店	2020/01/05			宇都■ ×△
個人		さい...	2020/01/10			〇脳 ◇菜

申込情報
申込日: ☐ 個人 ☐ 法人

法人会員情報
企業名: 企業名カナ:
部署名: 代表電話: 代表メール:
会員種類: ☐ 正規 ☐ 賛助

会員情報
申込店: 氏名: 氏名カナ: ☐ 男 ☐ 女
生年月日: 会員電話: 会員メール:
住所:

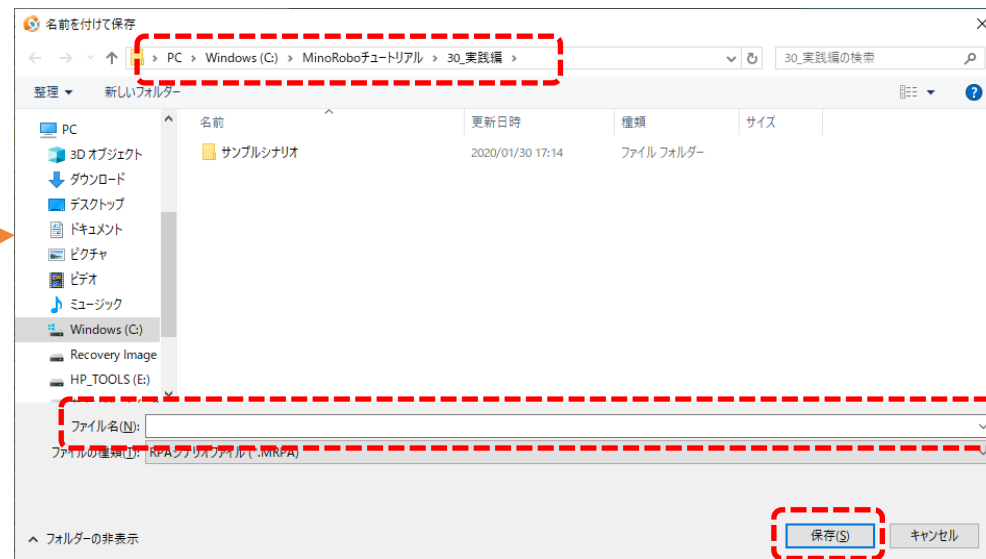
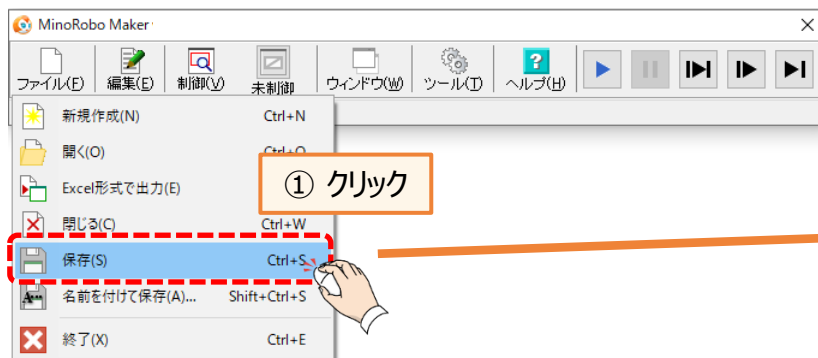
登録 クリア 閉じる

3. シナリオを作成してみよう

◎ シナリオを保存する

① 作成したシナリオをファイルとして保存します。

メイン画面の「ファイル(F)」→「保存(S)」を選択し、表示されるファイル保存ダイアログを操作して保存します。

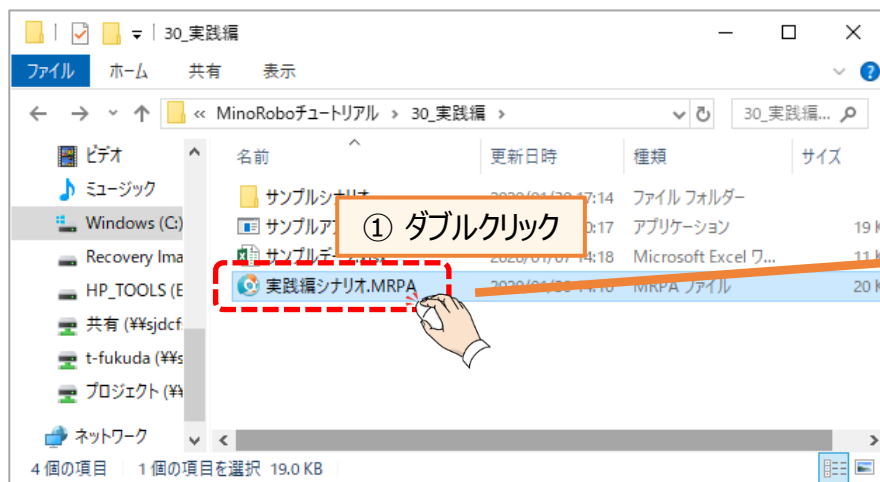


ファイル保存ダイアログが表示されます。
保存先フォルダ／保存ファイル名を指定して、
「保存(S)」をクリックします。

3. シナリオを作成してみよう

◎ シナリオを「MinoRobo Worker」で実行する

- ① これまでの操作では「MinoRobo Maker」の画面上でアクションを登録して実行する、という操作を行ってきましたが、実際にシナリオを運用していく場合、その都度「MinoRobo Maker」を起動しては非効率的です。
- この非効率的な操作を解決するために存在するのが「**MinoRobo Worker**」です。
- 「MinoRobo Worker」は **シナリオファイルを読み取ってシナリオを実行してくれるツール** です。
- 試しに、当チュートリアルで保存した **シナリオをダブルクリック※** して、シナリオが実行されるのを確認してみましょう。



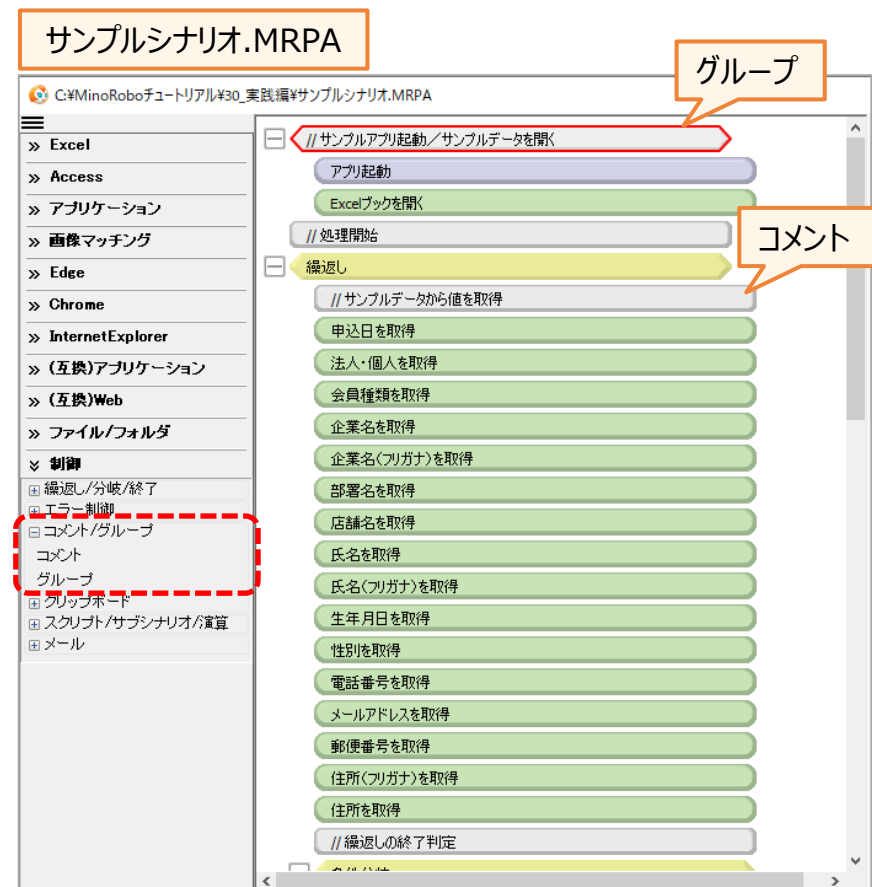
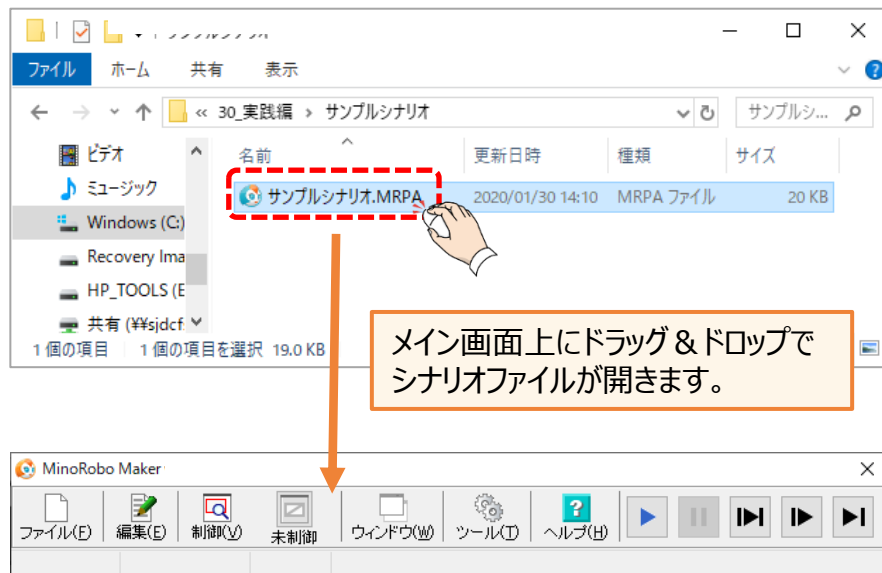
「MinoRobo Worker」が起動して、
画面上でシナリオが実行されていることを確認



3. シナリオを作成してみよう

◎ シナリオの視認性・メンテナンス性を上げよう

- ① 作成したシナリオの視認性やメンテナンス性を上げるための工夫として、「グループ」や「コメント」アクションを活用してみましょう。
「30_実践編」→「サンプルシナリオ」のフォルダにある **サンプルシナリオ.MRPA** を参考にしてわかりやすいシナリオになるよう工夫してみてください。



以上で

「～チュートリアル（実践編）～ シナリオを作成してみよう」は終了です。

お疲れ様でした。

